

opentext™

OpenText™ Project and Portfolio Management (PPM)

ソフトウェアバージョン: 25.1-25.2

はじめにヘルプ

ヘルプセンターオンラインに移動

<https://admhelp.microfocus.com/ppm/>



ドキュメントリリース日: 2025年5月

フィードバックを送る



はじめにヘルプを使用してお気づきになった点をお知らせください。

電子メールの宛先: admdocteam@opentext.com

ご注意

© Copyright 2025 Open Text.

Open Textおよびその関連会社およびライセンサ(「Open Text」)の製品およびサービスの保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Open Textはいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

免責事項

ここからアクセス可能なソフトウェアの一部には、Hewlett-Packard Company (現在のHP Inc.) およびHewlett Packard Enterprise Companyのブランドが含まれる場合があります。このソフトウェアは、2017年9月1日にMicro Focusによって買収され、現在は所有と経営を別とする会社OpenTextによって提供されています。HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークの使用は歴史的なものであり、HPおよびHewlett Packard Enterprise/HPEマークはそれぞれの所有者に帰属します。

目次

スタートアップガイド	9
最初のステップ	9
PPMのインストールと構成	9
ヘルプセンターのブックマーク	10
モジュール	10
基本	12
PPMへのログオンとログオフ	12
パスワードのリセット	13
メニューを参照する	14
メインメニューと管理メニュー	14
24.4にアップグレードした後のメニューの外観	15
個人設定を設定する	16
一般設定	16
地域設定	18
チーム設定	18
通知の設定	18
メニューとエンティティを検索する	19
Navigatorで項目を検索し、レポートを送信する	20
前提条件	20
Navigatorにアクセスする	21
メニューまたはエンティティを検索する	21
レポートの送信	22
ページをブックマークしてホームページに設定する	23
[マイリンク] リストにページを追加する	23
[マイリンク] リストのページを管理する	24
ホームページを設定する	24
共通UI要素	26
グリッドビュー	26
概要	26
グリッドビューの [列] タブを操作する	26
グリッドビューの [フィルター] タブを操作する	27
ガントチャート	27
新しいガントチャートが使用される場所	28
新規ガントチャートと旧ガントチャート	28
メモ領域	30
メモ領域のあるエンティティ	30
メモ領域のリッチテキスト形式	30
添付ファイル	30
添付ファイルを追加する	30

添付ファイルの編集、チェックアウト、およびチェックイン	33
添付ファイルのプレビューとダウンロード	34
添付ファイルのキーワードでエンティティを検索する	35
サポートマトリックス	38
統合	38
その他のヘルプ	39
新機能	41
What-if分析の機能拡張	41
ポートフォリオ管理の機能拡張	42
PPMチャットボットの更新	43
使いやすさの向上	43
リソース管理の機能拡張	44
プラットフォームの機能拡張	45
管理の機能拡張	45
リクエスト管理の機能拡張	46
PowerPointレポートの更新	47
新しいREST API	47
以前のバージョンの新機能	47
25.1の新機能	47
What-if分析の機能拡張	48
ポートレットの機能拡張	49
ポートフォリオ管理の機能拡張	49
使いやすさの向上	50
管理の機能拡張	51
PPMAPI	51
残存キャパシティがない共有リソースをアサインする	52
タイムシートの自己承認を制限する	52
PPTレポートの更新	52
Digital.ai Agility統合の更新	52
24.4の新機能	53
サイドナビゲーションメニュー	53
デマンド管理の機能拡張	53
Web UIからメニューをカスタマイズする	54
ダウンロード前にファイルをプレビューする	54
既存のプログラムに変更を反映する	54
リソース管理の機能拡張	55
ポートレットの機能拡張	55
個人設定の更新	56
カスタム企業ロゴがSVGファイルをサポート	56
機能切り替えの更新	57

作業計画にWBSを表示する	57
PPM - Jira統合の更新	57
拡張オペレーティングシステムサポート	57
新しいREST API	57
OracleディクショナリビューでSQLクエリを実行する	58
ユーザーインポートの更新	58
ヘルプセンターのデザインを更新	58
24.3の新機能	59
Web UIからリクエストタイプを管理する	59
簡素化されたリソース割り当て	59
Navigatorを使用してレポートを送信	60
リクエストタイプからデータソースを作成する	60
進捗バーからリクエストの進捗を表示する	60
機能切り替えの更新	60
ポートレットの機能拡張	60
プログラムメモのリッチテキストのサポート	61
シングルサインオンのセッション言語を設定する	61
PPTおよびWordレポートの更新	62
ポートフォリオコンテンツの数を制御する	62
フィンランド語のサポート	62
エンティティ移行の更新	62
Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ	62
24.2の新機能	63
ポートフォリオ計画における依存関係管理	63
Navigator Aviator	63
PostgreSQLデータベースの公式サポート	64
デマンド管理の機能拡張	64
クローズされたリクエストの時間管理	65
プロジェクトガントポートレットの更新	66
メモのリッチテキストをサポート	66
最新のPPMバージョンへの直接アップグレード	66
簡素化されたAutopassライセンスのインストール	66
Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ	66
機能切り替えの更新	67
32ビットJVMサポートを中止	67
24.1の新機能	67
ポートフォリオ管理の機能拡張	68
デマンド管理の機能拡張	68
管理の機能拡張	69
ダッシュボードの機能拡張	71
What-if分析の機能拡張	71
レポートの機能拡張	72

リソース管理の機能拡張	72
時間管理の機能拡張	73
マイタイムシートアプリの更新	73
チーム管理の機能拡張	73
統合の機能拡張	74
REST APIの機能拡張	74
廃止	74
23.4の新機能	74
What-if分析の機能拡張	75
ポートフォリオ管理の機能拡張	75
リソース管理の機能拡張	76
時間管理の機能拡張	77
管理の機能拡張	77
プラットフォームの機能拡張	78
デマンド管理の機能拡張	78
統合の更新	79
プロジェクト管理の機能拡張	79
マイタイムシートアプリの更新	80
Oracle EBSのデプロイメント管理拡張機能	80
23.3の新機能	80
強化されたwhat-if分析 (ベータ版)	80
プラットフォームの機能拡張	81
管理の機能拡張	81
時間管理の機能拡張	82
統合の機能拡張	83
REST APIの機能拡張	84
リソース管理の機能拡張	84
ポートフォリオ管理の機能拡張	85
デマンド管理の機能拡張	86
プログラム管理の機能拡張	86
APMの機能拡張	87
2023の新機能	87
ポートフォリオ管理の機能拡張	87
プロジェクト管理の機能拡張	88
PPM-Agile統合の機能拡張	89
プラットフォームの機能拡張	89
財務管理の機能拡張	90
リソース管理の機能拡張	90
管理の機能拡張	91
デマンド管理の機能拡張	91
APMの機能拡張	91
ポートレットの機能拡張	91

Internet Explorerの廃止	92
10.0.4の新機能	92
ポートフォリオ管理の機能拡張	92
プラットフォームの機能拡張	93
デマンド管理の機能拡張	94
PPM-ServiceNow統合	94
時間管理の機能拡張	94
財務管理の機能拡張	95
管理の機能拡張	95
レポートの機能拡張	95
ポートレットの機能拡張	96
10.0.3の新機能	96
PPM-Agile統合の機能拡張	96
ダッシュボードの機能拡張	97
リソース管理の機能拡張	98
管理の機能拡張	99
チーム管理の機能拡張	99
OOTBフィールドにカスタム検証を使用する	100
プロジェクト管理の機能拡張	100
ポートフォリオ管理の機能拡張	101
時間管理の機能拡張	101
廃止	101
10.0.2の新機能	101
新機能のビデオ	102
ポートフォリオ管理の機能拡張	102
プロジェクト管理の機能拡張	102
デマンド管理の機能拡張	103
チーム管理の機能拡張	105
管理の機能拡張	106
PPM - ALM Octane統合の機能拡張	107
インストールとアップグレードの機能拡張	107
リソースプールの分析ポートレットの更新	107
kMigratorの改善	108
ワークベンチの機能拡張	108
10.0.1の新機能	108
ポートフォリオ予算	109
統合の機能拡張	109
レポートの機能拡張	110
ダッシュボードの機能拡張	110
リソース管理の機能拡張	111
管理の機能拡張	112
PPMをPostgreSQLデータベースでアップグレードする (ベータ版)	113

10.0の新機能	113
ポートフォリオ財務	113
セルフサービスポートレットの拡張機能	113
管理の機能拡張	114
コンカレントライセンスの機能拡張	115
デマンド管理の機能拡張	115
新規特殊コマンド	116
PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版)	116
統合の更新	116
プロジェクト管理の機能拡張	117
kMigratorの改善	117
廃止	118
既知の問題	118
問題	118
制限事項	127

スタートアップガイド

OpenText™ Project and Portfolio Management Center (PPM) を使用すると、組織はビジネスのデマンドとアイデアを追跡し、適切なプロジェクトポートフォリオに投資する決定を下し、プロジェクトをまとめて管理して、プロジェクトが予定どおりに予算内で完了するようにすることができます。

最初のステップ



PPMを初めてお使いですか？

PPMモジュールと機能の概要については、[PPM overview](#)をご覧ください。



PPMプロセスを理解する

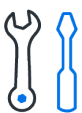
[PPM process](#)を探索します。



もっと詳しく知る

PPMの主要モジュールの詳細については、[PPM video gallery](#)のビデオを視聴し、[PPMコミュニティ](#)のヒントやブログを確認してください。

PPMのインストールと構成



PPMのインストールと構成

WindowsまたはLinuxにPPMをインストールして構成します。
詳細については、[Installation and Administration](#)を参照してください。



PPM APIの操作

[Interactive REST API Help](#)を参照してください。



PPMを使用してSAFeを実装する

PPMを使用してSAFeを実装するためのベストプラクティスについては、[Marketplace](#)を参照してください。

ヘルプセンターのブックマーク

 ヘルプセンターの最新バージョンを常に表示するには、次のリンクをブックマークしてください: <https://admhelp.microfocus.com/ppm>


トピックの最新バージョンを常に指すリンクを作成するには、URLのバージョン番号を「latest」に置き換えます。例えば:

- **前のバージョン:**

https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/9.60-9.62/Help/Content/Intro_PPM.htm

- **現在のバージョン:**

https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/latest/Help/Content/Intro_PPM.htm

 参照:

- [モジュール](#)
- [統合](#)

モジュール

PPMは、以下のコアモジュールで構成されています。これらのモジュールは独立して使用されません。

デマンド管理

デマンド管理を使用してさまざまなタイプの要求を送信し、要求が解決または承認されるまでプロセス (ワークフロー) を通過させます。

詳細については、[はじめに: デマンド管理](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理

ポートフォリオ管理は、戦略を定義し、提案、現在のプロジェクト、および確立された資産をビジネス戦略と整合させ、それによって新しいイニシアチブの価値を最大化するのに役立つツールを提供します。

詳細については、[はじめに: ポートフォリオ管理](#)を参照してください。

財務管理	<p>財務サマリを使用して、コスト計画を管理し、実績コストとベネフィットを把握し、承認された予算を追跡します。財務データテーブルを使用して、あらゆるタイプのリクエストの予測および実績のコストとベネフィットを追跡します。</p> <p>詳細については、はじめに: 財務管理を参照してください。</p>
リソース管理	<p>リソース管理は、ITイニシアチブに関連する人員を管理するための一連のツールを提供します。リソースのロールとスキルを設定し、将来のリソース容量を計画および追跡し、現在のプロジェクトとリクエストの実行にリソースをアサインできます。</p> <p>詳細については、はじめに: リソース管理を参照してください。</p>
プロジェクト管理	<p>プロジェクト管理を使用すると、プロジェクトを開始、実行、追跡して、プロジェクトがスケジュールと予算内で完了していることを確認できます。</p> <p>詳細については、はじめに: プロジェクト管理を参照してください。</p>
プログラム管理	<p>1つのプロジェクトでビジネスゴールを達成できない場合は、プログラム管理を使用して、関連するプロジェクト、提案、および資産をグループ化し、それらをまとめて監視します。</p> <p>詳細については、はじめに: プログラム管理を参照してください。</p>
時間管理	<p>作業項目 (リクエスト、プロジェクト、タスク、パッケージ、またはその他の作業) で作業しているときは、時間管理タイムシートを使用して、特定の作業項目で作業している時間を報告します。</p> <p>詳細については、はじめに: 時間管理を参照してください。</p>

ユースケースの例

プロジェクト管理モジュールを使用してプロジェクトを管理する場合、デマンド管理を使用してプロジェクトで発生する問題やリスクを追跡したり、財務管理を使用して予算を定義したり、コスト/ベネフィットを追跡したりすることもできます。以下は、これらのモジュールがどのように連携してプロジェクトを完了するかの例です。



基本

このセクションでは、PPMにログオンおよびログオフし、日常業務を実行するためにPPMを使用する方法について説明します。

PPMへのログオンとログオフ

標準インターフェイスは、ネットワーク経由でWebブラウザからアクセスできるPPM Webページのセットです。ログオンする前に、次のものがが必要です。

- PPM Webアドレス (URL)
- ユーザー名

- パスワード
- 少なくとも1つのPPM製品ライセンス

PPMにログオンするには、次の手順を実行します。

1. Webブラウザを開き、PPM Webアドレスを入力します。
[PPMログオン] ページが開きます。

注: PPMを使用する場合、画面解像度は少なくとも1024 x 768である必要があります。

2. 適切なフィールドにユーザー名、パスワード、セッション言語を入力します。
サーバーにパスワードを保持させたい場合は、**[ユーザー名を保存する]** チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、ログオンするたびにパスワードを入力する必要がなくなります。
セッション言語の詳細については、[Multilingual User Interface](#)を参照してください。
3. [PPMログオン] ページで、**[サインイン]** をクリックします。
Webページが開きます。初めてのユーザーには新しいパスワードの入力が求められる場合があります。

ログオフするには、次の手順を実行します。

- ページの右上隅にあるユーザーアイコンをクリックし、**[サインアウト]** をクリックします。

パスワードのリセット

パスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットして新しいパスワードを作成できます。

前提条件:

1. 管理者が **[パスワードのリセットを有効にする]** 機能の切り替えをオンにしている。
2. 次の要件を満たす必要があります。

- PPM認証ユーザーであり、
- PPMアカウントの有効期限が切れていないこと、
- ユーザー名に電子メールアドレスが割り当てられている。

パスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

1. [PPMログイン] ウィンドウで、[パスワードを忘れた場合] リンクをクリックします。

[パスワードの変更] ページから [パスワードを忘れた場合] リンクを開くこともできます。


2. PPMユーザー名とユーザー名に割り当てられた電子メールアドレスを入力します。

注: IDを使用してPPMにログオンする場合は、ユーザー名の代わりにIDを入力します。

3. [送信] をクリックします。

PPMは、PPMユーザー名に割り当てられた電子メールアドレスに電子メールメッセージを送信します。新しいパスワードを設定するには、メール内のリンクをクリックしてください。

4. 新しいパスワードを正常に設定すると、[PPMログイン] ウィンドウが開き、新しいパスワードを使用してログインできるようになります。

 参照:

- [個人設定を設定する \(16ページ\)](#)

メニューを参照する

このセクションでは、対象ページのメニューを参照する方法について詳しく説明します。

メインメニューと管理メニュー

以下のメニューが利用可能です。

メニュー	説明
メインメニュー	<p>すべてのユーザーが利用できます。リクエストの管理やタイムシートの送信など、日常的なアクティビティを実行するためのターゲットページへのアクセスを提供します。</p> <p>デフォルトでは、サイドナビゲーションを使用してメインメニューを移動します。[サイドナビゲーションメニュー]機能の切り替えをオフにすると、トップナビゲーションを使用できます。ただし、トップナビゲーションは将来のバージョンでは廃止される予定なので、サイドナビゲーションを使用することをお勧めします。</p>
管理メニュー	<p>管理者または構成ロールを持つユーザーのみが利用でき、特定のアクセス許可が必要です。システム設定、ユーザーロール、アクセス制御、その他の管理タスクを管理するためのオプションを提供します。</p> <p>管理メニューにアクセスするには、マストヘッドの [管理] ボタンをクリックします。</p>

両方のメニューのメニュー項目は、プロジェクト管理やデマンド管理などのモジュール別に分類されています。

24.4にアップグレードした後のメニューの外観

アップグレード後、メニューは自動的にサイドナビゲーション構造に切り替わります。

- アップグレード前にメニューをカスタマイズしていなかった場合は、サイドナビゲーションがシームレスに適用されます。
- アップグレード前にメニューをカスタマイズしていた場合、カスタマイズ内容は次のようにサイドナビゲーションメニューに統合されます。

注: `content/conf/menus`ディレクトリにある`update_menu.xml`ファイルと`delete_menu.xml`ファイル内のカスタマイズのみがサイドナビゲーションメニューにマージされます。他のディレクトリに配置されたカスタマイズは、アップグレード後にサイドナビゲーションメニューにマージされません。

- **開く**、**検索**、および**作成**メニューがトップレベルメニューとして追加されます。
- **開く**メニューには、ダッシュボードメニューを除くサイドナビゲーションメニュー項目が含まれます。

リクエスト、ポートフォリオ、グローバル戦略テーマ、What-if分析、およびチーム管理メニュー項目は、**開く**メニューの下の関連モジュールに移動され、それらのカスタマイズは保持されません。

- **検索**メニューは、**保存済み検索**項目を除いて、上部のナビゲーション構造と同じです。保存済み検索では、新しい検索のみを保存でき、以前に保存した検索を表示することはできません。完全な機能を使用するには、**[開く] > [デマンド管理] > [保存済み検索]**メニューに移動します。
- **作成**メニューは、以前に使用したリクエストタイプをリストしない**リクエスト**項目を除いて、上部のナビゲーション構造と同じです。完全な機能を使用するには、**[開く] > [デマンド管理] > [リクエストの作成]**メニューに移動します。

 参照:

- [Customize main menu](#)

個人設定を設定する

[マイプロファイルの編集] ページで個人情報を更新したり、インターフェイス設定を調整したりできます。

一般設定

個人情報を変更し、個人のインターフェイス設定を設定します。

個人情報を変更し、個人のインターフェイス設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPMにログオンします。
2. マストヘッドからユーザー画像をクリックし、**[マイプロファイルの編集]** をクリックします。
3. **[マイプロファイルの編集]** ページの **[全般]** タブで、必要に応じて次の設定を変更します。

領域	説明
パスワードの変更	パスワードを変更することができます。
個人を特定できる情報の変更	<p>この領域を使用して、シングルサインオンのセッション言語を設定し、個人情報を構成します。</p> <ul style="list-style-type: none">• SSOのみ。シングルサインオン経由で接続するときPPMで機能するようにセッション言語を設定するには、[言語] フィールドを使用します。選択した言語は、今後のすべてのシングルサインオンログインに適用されます。言語が設定されていない場合は、システム言語が使用されます。• [電子メールアドレス] フィールドと [電話番号] フィールドに電子メールアドレスと電話番号を追加します。• プロフィールに画像をアップロードするには、画像アイコンをクリックして画像を選択します。アップロードされた画像は自動的に保存されます。

領域	説明
非表示のメッセージダイアログ	警告メッセージを再表示できるようになります。 アプリケーションを使用すると、再度表示しないように選択できる警告メッセージが表示される場合があります。これらの警告メッセージを再表示する場合は、 [すべての警告メッセージを再表示] チェックボックスをオンにします。
プロジェクト作業計画プリファレンス	作業計画に一度に表示できるタスクの数を設定できます。詳細については、 Work Plan Page Size Controls を参照してください。
ダッシュボードコスト表示	個人の通貨表示を設定できます。詳細については、 Set your personal currency display を参照してください。

地域設定

表示する日付、時刻、数値、通貨の希望の形式を選択します。詳細については、[Set your currency format](#)を参照してください。

チーム設定

チームのヒートマップ、デマンド、稼働率の色分けを設定します。詳細については、[Customize team coloring](#)を参照してください。

通知の設定

これはベータ機能です。

管理者は、リクエストの承認やタイムシートの送信に関する通知など、さまざまなイベントやリマインダーの電子メール通知を設定できます。受信する通知を選択できますが、通知の種類が設定されていない場合は、スイッチを有効にしても通知は受信されません。

前提条件:

通知設定を構成するには、管理者が [電子メール通知のプリファレンス] 機能の切り替えを有効にする必要があります。詳細については、[Use feature toggles to turn on/off features](#)を参照してください。

通知を設定するには、次の手順を実行します。

1. [マイプロフィールの編集] ページで、[通知] タブをクリックします。
2. 受信したい通知のスイッチをオンにして、[保存] をクリックします。

参照:

- [パスワードのリセット \(13ページ\)](#)
- [Configure notifications for request types](#)
- [Configure the Notifications tab](#)

メニューとエンティティを検索する

検索ボックスを使用してPPMメニューを開くか、インスタンス内のすべてのモジュールでエンティティを検索します。

検索ボックスを使用してメニューまたはエンティティを検索するには、次の手順を実行します。

1. PPMのトップバナーで、検索ボタンをクリックします。
2. 検索文字列を入力してください。

検索文字列	説明
メニュー名	PPMメニューを検索するには、メニュー項目名の任意の部分を入力します。 たとえば、[リクエストの作成]メニューを検索するには、「リクエスト」と入力し、「リクエストの作成 (開く)」をクリックします。
リクエスト番号	リクエストを検索するには、リクエスト番号を入力します。 たとえば、番号12345のリクエストを検索するには、「"12345"」と入力します。 注記: リクエスト番号を使用してリクエストのみを検索できます。
キーワード	「@」に続けてエンティティ名の任意の部分を入力し、エンティティタイプを選択します。プロジェクト、プログラム、スタッフィングプロファイル、タスクなどのエンティティを検索できます。 たとえば、名前に「test」が含まれるプロジェクトを検索するには、「"@test"」と入力し、「プロジェクトの検索: test」をクリックします。

 参照:

- [デマンド管理](#)
- [Planning a Project](#)
- [Initiate a program](#)

Navigatorで項目を検索し、レポートを送信する

Navigatorは、対話することでメニューやエンティティを検索したり、レポートを送信したりできるインテリジェントアシスタントです。


注記: Navigatorは英語セッションでのみ利用可能です。

前提条件

Navigatorを使用するには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- オペレーティングシステムは64ビットである必要があります。
- オペレーティングシステムのlibc.so.6ライブラリのバージョンは2.14以降である必要があります。
- 管理者は**ENABLE_NAVIGATOR**パラメーターを**true**に設定して有効にする必要があります。詳細については、[Server parameters](#)を参照してください。

Navigatorにアクセスする

Navigatorにアクセスするには、PPMのトップバナーで、**[Navigator]** ボタンをクリックします。

- Navigatorを初めて開くと、ダイアログボックスに最近開いたページが表示されません。

注: [マイリンク] リストに追加されたページと保存済み検索は表示されません。詳細については、[ページをブックマークしてホームページに設定する \(23ページ\)](#)および[Save searches](#)を参照してください。

- Navigatorを閉じた後に再度開くと、最近のチャットが表示されます。ダイアログボックスの上部にある**[チャットのクリア]** をクリックすると履歴をクリアでき、最近開いたページが表示されます。

提案されたリンクのリストからリンクをクリックして、対象のページを開きます。

メニューまたはエンティティを検索する

Navigatorを操作してメニュー項目またはエンティティを検索します。

Navigatorを使用してメニュー項目またはエンティティを検索するには、次の手順を実行します。

- Navigatorチャットボックスに検索文字列を入力し、**[送信]** ボタンをクリックするか、**ENTER**キーを押します。

文字列	説明
メニュー項目名	<p>PPMメニューを検索するには、メニュー項目名の任意の部分を入力します。</p> <p>入力すると、入力内容とアクセス許可に基づいて候補が表示されます。候補リストからリンクをクリックすると、ターゲットメニューが開きます。</p> <p>たとえば、[新規リクエストの作成]メニューを開くには、「リクエスト」と入力し、候補リストから「リクエストの作成 (開く)」をクリックします。</p>
リクエスト番号	<p>リクエストを検索するには、リクエスト番号を入力します。</p> <p>たとえば、番号12345のリクエストを検索するには、「"12345"」と入力します。</p> <p>注記: リクエスト番号を使用してリクエストのみを検索できます。</p>
スラッシュ (/) + キーワード	<p>リクエスト、プロジェクト、プログラム、スタッフィングプロファイル、またはタスクを検索するには、スラッシュ (/) の後にエンティティ名または説明の一部を入力します。</p> <p>入力すると、入力内容とアクセス許可に基づいて候補が表示されます。提案されたリンクをクリックすると、検索を特定のエンティティタイプに限定できます。</p> <p>たとえば、名前または説明に「test」が含まれるリクエストを検索するには、「"/test"」と入力し、ENTERを押して、検索結果から結果をクリックして詳細を表示します。</p>

レポートの送信

Navigatorを操作することで、レポートを送信したりダウンロードしたりできます。

注: これはベータ機能です。

前提条件:

管理者は、[Navigatorを使用してレポートを送信] 機能の切り替えをオンにして、この機能の使用を有効にします。

レポートを送信するには、次の手順を実行します。

1. Navigatorチャットボックスに、実行するレポートの名前を入力します。
Navigatorは、文字列を含み、アクセス権を持つレポートを返します。
2. リストから対象レポートを選択し、[レポートの作成] ウィンドウでレポートの詳細を入力して、[送信] をクリックします。レポートの送信の詳細については、[Run reports](#)を参照してください。
3. レポートが完成したら、Navigatorダイアログボックスから直接ダウンロードできます。

 参照:

- [デマンド管理](#)
- [Planning a Project](#)
- [Initiate a program](#)
- [メニューとエンティティを検索する \(19ページ\)](#)

ページをブックマークしてホームページに設定する

特定のページを頻繁にアクセスする場合は、これらのページにすばやくアクセスできるように [マイリンク] リストを作成できます。管理者が許可している場合は、これらのページのいずれかを個人のホームページとして設定し、ログイン時にこのページに直接アクセスできるようにすることができます。

[マイリンク] リストにページを追加する

[マイリンク] リストにページを追加します。

[マイリンク] リストにページを追加するには、次の手順を実行します。

1. 追加するページを開き、マストヘッドの [マイリンクにこのページを追加] をクリックします。
2. [マイリンクの追加] ダイアログボックスで、ページの名前と説明を入力します。
3. ページを [マイリンク] リストに追加するには、[OK] をクリックします。

注: デフォルトでは、最大100ページを [マイリンク] リストに追加できます。管理者は、**MY_LINKS_MAX_COUNT**パラメーターを変更することで最大数を変更できます。

[マイリンク] リストのページを管理する

[マイリンク] リスト内のページ順序を変更したり、[マイリンク] リストからページを削除したりできます。

ページの順序を変更するには、次の手順を実行します。

1. メインメニューから、[**マイリンク**] を選択します。
2. 対象ページを**マイリンク**領域内にドラッグアンドドロップして、順序を変更します。

[マイリンク] リストからページを削除するには、次の手順を実行します。

1. **マイリンク**領域で、削除するページにマウスを置きます。
2. 表示される [**その他**] をクリックします。
3. [**削除**] をクリックし、[**はい**] をクリックして確定します。

注: ページがホームページとして設定されている場合、そのページを [マイリンク] リストから削除してもホームページとしての設定は解除されず、引き続きホームページとして使用されます。

ホームページを設定する

ホームページは、ログイン後に最初に表示されるページです。作業中のプロジェクトの詳細ページなど、[マイリンク] リストからページを個人のホームページとして設定できます。デスクトップクライアントとモバイルクライアントの両方にホームページを設定できます。





前提条件:

- デスクトップクライアントのホームページを設定するには、管理者がデスクトップのランディングページを選択できるようにする必要があります。詳細については、

[Allow users to pick their desktop landing page](#)を参照してください。


- モバイルクライアントのホームページを設定するには、管理者がモバイルランディングページを選択できるようにする必要があります。詳細については、[Allow users to pick their mobile landing page \(Dashboard pages only\)](#)を参照してください。

ホームページを設定するには、次の手順を実行します。

1. **マイリンク**領域で、デスクトップまたはモバイルクライアントのホームページとして設定するページにマウスを置きます。
 - デスクトップクライアントの場合、読み取りアクセス権を持つ任意のページをホームページとして設定できます。
 - モバイルクライアントの場合、読み取りアクセス権を持つダッシュボードページ (非公開または共有) のみをホームページとして設定できます。
2. **[その他]** ボタンをクリックし、**[デスクトップのホームページとして設定]** または **[モバイルのホームページとして設定]** を選択します。
 - デスクトップのホームページとして設定されたページには、アイコンが表示されます。
 - モバイルのホームページとして設定されたページには、アイコンが表示されます。
 - デスクトップとモバイルの両方のホームページとして設定されたページには、アイコンが表示されます。

ホームページの設定を解除するには、次の手順を実行します。

1. **マイリンク**領域で、ホームページにマウスを置きます。
2. **[その他]** ボタンをクリックして、**[デスクトップのホームページの設定を解除]** または **[モバイルのホームページの設定を解除]** を選択します。

 参照:

- [Configure landing pages](#)

共通UI要素

このセクションでは、PPMの共通UI要素について説明します。

- [グリッドビュー \(26ページ\)](#)
- [ガントチャート \(27ページ\)](#)
- [メモ領域 \(30ページ\)](#)
- [添付ファイル \(30ページ\)](#)

グリッドビュー

このセクションでは、グリッドビューの操作方法について説明します。

概要

グリッドビューでは、データを表形式で柔軟に表示できます。表示モードは**リスト**と**ピボット**の2つがあります。リストモードでは、データは行と列に表示されます。ピボットモードでは、データの多次元集計を表示する方法が提供されます。


グリッドビューは、次のPPMコンポーネントで使用されます。

- テーブルコンポーネント
- 改良されたピボットテーブルポートレット
- セルフサービスポートレット

グリッドビューの [列] タブを操作する

グリッドビューの **[列]** タブを使用して、列の表示と非表示を切り替え、データのグループ化と集計の方法を構成します。

1. 右側の **[列]** をクリックして、**[列]** タブを開きます。
2. ピボットモードを使用する場合は、**[ピボットモード]** トグルをオンにします。
ピボットモードを使用すると、データを多次元の表形式で表示できます。
3. 表示する列を選択し、非表示にする列の選択を解除します。
4. 次のセクションを使用して、データをグループ化および集計する方法を指定します。

セクション	説明
行グループ	行ディメンションでデータをグループ化するフィールドを選択します。データはカテゴリごとに1行表示されます。カテゴリはデータソースの値によって決定されます。 グループ化の順序を変更するには、フィールドを上または下に移動します。
値	集計するフィールドを選択し、値を集計する方法を指定します。 a. 集計するフィールドを「値」セクションにドラッグします。 b.  をクリックし、ドロップダウンリストから集計関数を選択します。
列ラベル	ピボットモードでのみ使用できます。 列ディメンションでデータをグループ化するフィールドを選択します。データはカテゴリごとに1列表示されます。カテゴリはデータソースの値によって決定されます。

グリッドビューの [フィルター] タブを操作する

表示されるデータをフィルタリングするには、グリッドビューの [フィルター] タブを使用します。

1. 右側の [フィルター] タブをクリックします。
2. データをフィルタリングするフィールドの下矢印をクリックします。
3. 表示する値の前のチェックボックスを選択します。

数値フィールドの場合は、まずフィルター条件を選択し、次にフィルターフィールドに値を入力します。

ガントチャート

PPMはバージョン9.65でガントチャートの一部を改良しました。新しいガントチャートは新しいモダンな外観を提供し、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

新しいガントチャートが使用される場所

新しいガントチャートは、次のPPMコンポーネントで使用されます。

- プロジェクトガントポートレット
- リソースのガントポートレット
- プロジェクトタイムラインポートレット
- 資本化されたプロジェクトタイムラインポートレット
- [リソースの表示] ページのリソースガントチャート: [キャパシティ/負荷] タブ
- [シナリオ詳細] ページのガントチャート: [タイムライン] タブ

新規ガントチャートと旧ガントチャート

次の表は、新規ガントチャートと旧ガントチャートの違いを示しています。

ポートレット	新規ガントチャート	旧ガントチャート
プロジェクトガントポートレット	<ul style="list-style-type: none">• サマリータスクとリーフタスクは同じ凡例を使用します。サマリータスクの前には三角形があり、サマリータスクを展開してその下のリーフタスクを表示できます。• タスクのアイコンを追加します。	<ul style="list-style-type: none">• サマリータスクとリーフタスクは、異なる凡例によって区別されました。• タスクのアイコンがありません。

ポートレット	新規ガントチャート	旧ガントチャート
リソースのガントポートレット リソースのガントチャート	<p>タスク、リクエスト、スタッフィングプロファイルは、前面のアイコンで区別されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「T」はタスク 「RQ」はリクエスト 「SP」はスタッフィングプロファイル 	<ul style="list-style-type: none"> タスク、リクエスト、およびスタッフィングプロファイルは、異なる色で区別されました。 タスク、リクエスト、スタッフィングプロファイルのアイコンがありません。
プロジェクトタイムラインポートレット	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例を表示します。 プロジェクトの進行状況と例外(ある場合)をバーに表示します。 プロジェクトのアイコンを追加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例がありません。 プロジェクトの進行状況と例外がバーに表示されませんでした。 プロジェクトのアイコンがありません。
資本化されたプロジェクトタイムラインポートレット	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例を表示します。 バーにプロジェクトの進行状況を表示します。 プロジェクトのアイコンを追加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ポートレットに凡例がありません。 バーにプロジェクトの進行状況が表示されませんでした。 プロジェクトのアイコンがありません。
[シナリオ詳細] ページのガントチャート	<p>プロジェクト、提案、資産は前面のアイコンで区別されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「PJ」はプロジェクト 「PP」は提案 「AS」は資産 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト、提案、資産は色で区別されました。 プロジェクト、提案、資産のアイコンがありません。

新しいガントチャートの既知の問題:

- Firefoxでプロジェクトガントポートレットを含むダッシュボードページをPDFにエクスポートすると、ブラウザーのパフォーマンスが低下する可能性があります。
- ガントチャートはモバイルデバイスでは完全には表示されないため、右側の部分を表示するには左にスワイプする必要があります。

メモ領域

PPM内のエンティティにメモを追加して、追加情報を取得できます。

メモ領域のあるエンティティ

以下は、追加情報を取得するためのメモ領域を含むPPMエンティティの一部です。ここに記載されていないが、メモがあるその他のエンティティについては、ヘルプセンターの関連セクションに記載されています。

- リクエスト
- プロジェクト
- プログラム
- スタッフィングプロファイル
- 財務サマリ
- タイムシート

メモ領域のリッチテキスト形式

[ユーザメモにリッチテキストを使用する] 機能の切り替えをオンにすると、メモ領域に画像、リンク、書式設定テキストを追加できます。

メモ領域に画像やリンクを追加したり、リッチテキストを適用したりした後、機能の切り替えをオフにすると、画像、リンク、書式設定のないテキストのみが残ります。

添付ファイル

このトピックでは、添付ファイルの操作方法について説明します。

添付ファイルを追加する

エンティティのユーザーデータフィールド (1つ以上のユーザーデータフィールドが作成されている) にファイルを添付したり、参照をサポートする任意のエンティティへの参照として添付したりできます。

ユーザーデータフィールドに添付ファイルを追加するには、次の手順を実行します。

1. ドキュメントを添付するユーザーデータフィールドを持つエンティティを開くか作成します。

注: エンティティのユーザーデータフィールドに添付ファイルを追加するには、そのフィールドの検証値が**添付ファイル**に設定されている必要があります。ユーザーデータフィールドの詳細については、[Configure user data](#)を参照してください。

2. ユーザーフィールドの添付ファイルセクションで、**[追加]** をクリックします。
3. **[ファイル]** フィールドで、**ファイルの選択** をクリックして、添付するファイルを選択します。

注: 指定するファイルは、OpenText Project and Portfolio Management Centerサーバー上のディレクトリに存在する必要があります。

4. オプションで、添付ファイルに次の情報を入力します。

フィールド	説明
初期バージョンのコメント	ファイルの初期バージョンに関するメモを入力します。
作者	ファイルの作成者名を入力します。
説明	ファイルの説明と目的を入力します。
キーワード	他のユーザーがそれらの用語を含む添付ファイルを持つエンティティを見つけられるように、いくつかのキーワードを指定します。キーワードは、指定されたキーワードでのみ検索可能な画像などのテキスト以外のファイルを検索する場合に不可欠です。 フルテキストインデックスの詳細については、 Configure full text search in Database-Based DMS solutions を参照してください。

5. **[追加]** をクリックします。

ドキュメントが添付され、エンティティページの **[ユーザーデータ]** セクションにリストされるようになりました。

6. オプションで、**[置換]** をクリックして、アップロードしたファイルを置換または削除できます。

[ドキュメントの置換] ウィンドウで、次の操作を実行します。

- ドキュメントを削除するには、**[ドキュメントの削除]** をクリックし、**[OK]** をクリックして確定します。
- ドキュメントを置き換えるには、次の手順を実行します。
 - i. **[ファイル]** フィールドに、添付するファイルの完全なディレクトリパスを入力します。または、**[参照]** をクリックして、ファイルまで移動して選択することもできます。
 - ii. 必要に応じて他のフィールドに情報を入力します。
 - iii. **[置換]** をクリックします。

7. **[保存]** をクリックします。

エンティティに添付ファイルを参照として追加するには、次の手順を実行します。

1. 添付ファイルを追加するエンティティを開きます。
2. **[参照]** セクションを展開するか、**[参照]** タブに移動します。
3. **[新規参照]** リストで **[添付ファイル]** を選択し、**[追加]** をクリックします。
4. **[ファイル]** フィールドで、**ファイルの選択** をクリックして、添付するファイルを選択します。

注: 指定するファイルは、OpenText Project and Portfolio Management Centerサーバー上のディレクトリに存在する必要があります。

5. 必要に応じて、添付ファイルのその他の情報を入力します。詳細については、[フィールドの詳細](#)を参照してください。
6. **[追加]** をクリックします。**[保存時に追加される参照]** フィールドに、指定したドキュメントファイルが一覧表示されます。
7. **[保存]** をクリックします。

[保存] をクリックした後にドキュメント管理システムに読み込まれたドキュメントは、エンティティページの [添付ドキュメント] セクションにリストされるようになります。

添付ドキュメントに表示される情報には、次のものも含まれます。

- ドキュメントのバージョン、サイズ、作成者
- ドキュメントをチェックアウトした人 (いる場合)
- ドキュメントが最後にチェックインされた日時と担当者

添付ファイルの編集、チェックアウト、およびチェックイン

添付ファイルを編集したり、添付ファイルをチェックアウトおよびチェックインしたりできます。

添付ファイルを編集、チェックアウト、またはチェックインするには、次の手順を実行します。

1. 添付ファイルを編集、チェックアウト、またはチェックインするエンティティを開きます。
 - 添付ファイルがユーザーデータフィールドに追加される場合は、ユーザーフィールドセクションを展開します。
 - 添付ファイルが参照としてエンティティに追加される場合は、[参照] セクションを展開し、[添付ドキュメント] セクションを展開します。
2. 対象の添付ファイルの [アクション] ボタンをクリックし、[ドキュメントアクション] ウィンドウで次のアクションを実行します。

アクション	詳細
添付ファイルの情報を編集する	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">a. [詳細の編集] をクリックし、添付ファイル情報に必要な変更を加えます。b. [完了] をクリックします。

アクション	詳細
添付ファイルのチェックアウトとチェックイン	<p>次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="493 338 1403 457">a. [チェックアウト] をクリックします。 添付ファイルがマシンに保存され、[ドキュメントアクション] ウィンドウが閉じます。<li data-bbox="493 474 1403 548">b. 変更が完了したら、ドキュメントを既知の場所に保存して閉じます。<li data-bbox="493 564 1403 705">c. 同じエンティティページで、ユーザーフィールドの添付ファイルセクションまたは [添付ドキュメント] セクションで、チェックインするドキュメントの [アクション] ボタンをクリックします。 [ドキュメントアクション] ウィンドウが再び開きます。 [チェックイン] ボタンが表示されるようになりました。<li data-bbox="493 806 1403 961">d. [チェックイン] をクリックします。 エンティティページの [追加された参照] セクションで、表示されるドキュメントのバージョン番号が1つ増加していることに注意してください。

添付ファイルのプレビューとダウンロード

添付ファイルの詳細をプレビューしたり、添付ファイルをマシンにダウンロードしたりできます。

添付ファイルをプレビューおよびダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. 添付ファイルをダウンロードするエンティティを開きます。
 - 添付ファイルがユーザーデータフィールドに追加される場合は、ユーザーフィールドセクションを展開します。
 - 添付ファイルが参照としてエンティティに追加される場合は、**[参照]** セクションを展開し、**[添付ドキュメント]** セクションを展開します。
2. 次のアクションを実行します。

アクション	詳細
添付ファイルをダウンロード	次のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none">添付ファイルを1つダウンロードするには、添付ファイルの名前をクリックします。すべての添付ファイルをzipファイルでダウンロードするには、[すべてダウンロード]をクリックします。
添付ファイルの詳細をプレビューする	添付ファイルの [アクション] ボタンまたは [詳細] ボタンをクリックします。添付ファイルの拡大プレビューが [ドキュメントアクション] ウィンドウに表示されます。 注記: プレビューできるファイルの種類は、txt、css、conf、html、htm、xml、js、jsp、json、java、properties、yml、bat、xsl、sql、sh、log、jpg、jpeg、png、gif、webp、svg、ico、bmp、pdf、mp3、wav、mp4、webm、oggです。

添付ファイルのキーワードでエンティティを検索する

添付ファイル内のキーワードでエンティティを検索できます。アプリケーションは、作成者、説明、キーワード、ファイル名、バージョンコメントなどのファイルの内容とプロパティを検索します。プロパティ検索はすべてのテキストおよびバイナリドキュメントに適用されますが、コンテンツ検索はテキストベースのドキュメントに限定されます。

ドキュメントキーワードを使用してエンティティを検索するには、次の手順を実行します。

1. エンティティ検索ページを開きます。
2. **[ドキュメントキーワード]** フィールドに、検索条件として使用する1つ以上の単語をスペースで区切って入力します。

注: キーワード検索では大文字と小文字は区別されません。

[<Entity_Name> 検索結果] セクションには、検索用語がすべて含まれる添付ファイルのみがリストされます。たとえば、「development test」の検索は、「development」と「test」として扱われます。ドキュメントが一致とみなされるには、そのコンテンツまたは説明フィールドに「development」と「test」の

両方が含まれている必要があります。「development」または「test」のいずれかを含むドキュメントを検索するには、「**development OR test**」と入力します。

検索用語を指定する他の方法については、[検索用語 \(36ページ\)](#)を参照してください。

3. [検索] をクリックします。

検索すると、検索語に一致するキーワードを含む1つ以上の添付ファイルを持つすべてのエンティティ (選択したタイプ) のリストが返されます。添付したドキュメントは、数分経たないと検索結果ページに表示されない場合があります。

コンテンツ検索でドキュメントを見つけるには、まずドキュメントのコンテンツをインデックス化する必要があります。TEXTインデックスの作成の詳細については、[Create and maintain Oracle TEXT indexes](#)を参照してください。

検索用語

AND演算子とOR演算子に基づく検索に加えて、正確なフレーズを検索したり、キーワードに基づいてドキュメントを除外したり、クエリを組み合わせて検索したりすることもできます。次の表は、これらの検索タイプのキーワードを指定する方法の詳細を示しています。

検索用語	詳細
"AND" クエリ	複数のキーワードを含むドキュメントを検索する場合は、検索語の間に "and" (大文字と小文字は区別されません) または "&" という文字を挿入できます。ドキュメントが一致とみなされるためには、指定されたすべての単語がドキュメントコンテンツまたはドキュメントプロパティに存在している必要があります。ドキュメントが一致しているとみなされるためには、キーワードが一緒になっている必要も、入力された順序になっている必要もありません。 例: greece and olympic; Greece & olympic
フレーズで検索	デフォルトでは、各クエリは「フレーズ」クエリです。特定のフレーズ、または特定の順序の単語のセットを含む添付ファイルを検索できます。 例: gold medal

検索用語	詳細
特定のテキスト文字列を含む添付ファイルを除外する	<p>特定の単語を含むドキュメントを明示的に除外するには、キーワードの前にNOT (~) 記号を付けます。この方法では、指定した単語を含むすべてのドキュメントは、クエリ内の他のキーワードと一致していても、結果から除外されます。</p> <p>検索から単語だけでなくフレーズも除外できます。</p> <p>たとえば、「greece」を含むドキュメントを含め、「olympic」を含むドキュメントは含めない場合は、「greece ~olympic」と入力します。</p> <p>注記: 検索から除外する単語 (先頭に「~」記号が付く) は、単独で出現したり、指定したキーワードのテキスト文字列の先頭に出現したりしないでください。たとえば、「~olympic」または「~olympic greece」を検索すると、エラーが返される可能性があります。</p>
"OR" クエリ	<p>異なる2つのキーワードのいずれかを含むドキュメントを検索するには、検索単語間に単語 "or" (大文字と小文字は区別されません) または文字 " " を挿入します。この場合、いずれかのキーワードが見つければ、ドキュメントは一致と見なされます。</p> <p>例: volleyball or softball; volleyball softball</p>
複合検索	<p>"AND"、"OR"、および "~" クエリを組み合わせ、ドキュメントの組み合わせ検索を実行できます。"AND" と "OR" の両方のクエリを含むドキュメントを検索する場合は、サブクエリを括弧 "(" と ")" で囲むようにしてください。たとえば、A and (B C)。</p> <p>例: gold medal and (volleyball softball)</p>
過去のバージョンの検索	<p>[過去のバージョンの検索] オプションを使用すると、現在のバージョンの全文検索 (ドキュメントコンテンツとドキュメントプロパティを含む) に加えて、ドキュメントの過去のバージョンのコンテンツとバージョンコメントの両方またはいずれかを検索できます。</p>

 参照:

- [Add references to requests](#)

サポートマトリックス


このセクションでは、PPMを実行するために必要なシステム要件と、サポートされているオペレーティングシステム、ブラウザ、テクノロジー、およびその他のサードパーティ製品を一覧表示します。

リリースの詳細と日付については、[製品サポートライフサイクルページ](#)を参照してください。製品サポートライフサイクルポリシーは、各製品バージョンに提供されるサポートのレベルを定義します。

サポートマトリックスと統合カタログの最新バージョンにオンラインでアクセスします。

ドキュメント	リンク
サポートマトリックス	PPM 25.2サポートマトリックス
統合カタログ	統合ソリューションの互換性マトリックス
ハードウェア要件	サイズに関する推奨事項

注: PPMのお客様は、ますます多様化する環境 (オンプレミス、クラウドなど) で PPMを実行します。システム要件と互換性マトリックスは、最新の情報で継続的に更新されます。ただし、企業プラットフォームとクラウドサービスは急速に変化しているため、利用可能なすべてのプラットフォームを正式に認定することはできません。このため、PPMを実行するプラットフォームの特定のバージョンがこの互換性マトリックスにリストされていない場合は、[PPMディスカッションフォーラム](#)でサポートできるかどうかを問い合わせることができます。

 参照:

- [PPM 25.1サポートマトリックス](#)






統合

PPMは、他のOpenText製品およびサードパーティ製品との統合ソリューションを提供します。

製品	統合
アジャイルツール <ul style="list-style-type: none">• ALM Octane• Atlassian JIRA• CA Rally• Digital.ai Agility• Notion• Smartsheet• ServiceNow• Azure DevOps	<ul style="list-style-type: none">• ALM Octaneとの統合• Atlassian JIRAとの統合• CA Rallyとの統合• Digital.ai Agilityとの統合• NotionからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版)• SmartsheetからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版)• PPMとServiceNowの統合• Microsoft Azure DevOpsとの統合
Quality Center/Application Lifecycle Management	<ul style="list-style-type: none">• PPMリクエストをQC/ALMの不具合または要件と統合する• PPMプロジェクトとALMリリースとの統合• PPMタスクとALMリリースとの統合
Microsoft Project	<ul style="list-style-type: none">• プロジェクト管理とMicrosoft Projectとの統合
Service Manager	<ul style="list-style-type: none">• PPMリクエストとService Managerの変更点との統合• PPMタスクとService Manager RFCとの統合
Universal CMDB	<ul style="list-style-type: none">• PPMとUniversal CMDBとの統合• PPMとUniversal CMDB for Service Portfolioとの統合• APMとUniversal CMDBとの統合
Release Control	<ul style="list-style-type: none">• PPMとRelease Controlとの統合

その他のヘルプ

ここでは、さらに詳しいヘルプが必要なユーザー向けに、OpenText製品を最大限に活用するための方法をいくつか紹介します。

 <p>サポート</p>	<p>製品に関するサポートが必要なお客様</p> <p>サポートにアクセスすると、サポートインシデントのオープンやバグの送信を行えます。また、多くの役立つサポートリソースを参照することもできます。</p>
 <p>Idea Exchange</p>	<p>機能の提案や機能拡張の要望があるお客様</p> <p>PPMアイデア交換では、アイデアの投稿、投稿への投票、同僚、パートナー、製品チームとの共同作業を行えます。</p>
 <p>コミュニティ</p>	<p>製品に関する質問のヒントと回答を探しているお客様</p> <p>製品のディスカッションフォーラムに参加して、コミュニティの膨大なナレッジプールを活用してください。多くの異なる重点分野をカバーするブログもあります。</p>
 <p>トレーニングと教育</p>	<p>トレーニングコースに興味があるお客様</p> <p>ラーニングサービスで利用可能なトレーニングおよび教育オプションを表示および検索します。</p>
 <p>ドキュメントのフィードバック</p>	<p>ヘルプトピックに関するサポートが必要なお客様</p> <p>ヘルプセンターのエクスペリエンスを改善する方法を教えてください。特定のトピックに関するフィードバックを送信するか、ヘルプセンターのフッターにあるヘルプセンターに関するフィードバックの送信をクリックして質問してください。</p>

新機能

次の新機能と拡張機能が25.2で導入されました。

注: バージョン25.1から25.2のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、25.2で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン25.1の拡張機能を表示するには、[What's new in earlier versions](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

シナリオのポートフォリオの変更を表示し手動で同期する

シナリオでは、ポートフォリオの変更に関して次の操作を実行できるようになりました。

- ポートフォリオの変更をシナリオに手動で同期するか、自動で同期するかを選択します。
- シナリオにすでに同期されているポートフォリオの変更を表示します。
- 同期が保留中のポートフォリオの変更を表示します。これは手動同期にのみ適用されます。

詳細については、[Sync portfolio updates to the scenario](#)を参照してください。

What-if分析で一時的なポートフォリオコンテンツを追加する

What-if分析を実行するときに、一時的なポートフォリオコンテンツを作成せずに、What-ifシミュレーションのプレースホルダーとして追加できるようになりました。

詳細については、[Add temporary content for simulation](#)を参照してください。

What-if分析に潜在的な候補を追加する

ポートフォリオにまだ含まれていないプロジェクトや提案を、潜在的な候補としてシナリオに追加できるようになりました。

このようなプロジェクトや提案を追加するには、まず管理者がそれらをポートフォリオの候補として指定する必要があります。

詳細については、[Enable potential candidates in scenarios](#)を参照してください。

What-ifテンプレートの機能強化

what-ifテンプレートには次の更新が導入されています。

- [ランキングビュー] ウィジェットでは、[数値 (式)] フィールドの値を整数として表示するか、小数点以下2桁の数値として表示するかを選択できるようになりました。
- [合計] 集計方法を使用するグラフでは、シナリオ期間全体にわたって値をどのように配分するか (均等に配分するか、配分せずに全体として配分するか) を指定できるようになりました。

詳細については、[\[数値 \(式\)\] フィールドの設定](#)および [Value Calculation Mode](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

強化された戦略的調整

ポートフォリオイニシアチブの戦略テーマを選択する場合、オプションには、ポートフォリオ自体に定義された戦略テーマだけでなく、ポートフォリオ階層のルートまでのすべての上位ポートフォリオの戦略テーマも含まれます。

この機能を使用するには、新しい **[ポートフォリオレベル間での戦略テーマとビジネスゴールの調整]** 機能トグルをオンにします。

詳細については、[Align portfolio initiatives contents with 戦略テーマs](#)を参照してください。

**バックログ項目を名前で
フィルタリングする**

ポートフォリオバックログ項目を項目名でフィルターできるようになりました。

詳細については、[Filter backlog items portfolio contents](#)を参照してください。

PPMチャットボットの更新

次の拡張機能がPPMチャットボットに追加されました。

- 組み込みの自然言語処理モデルを搭載し、応答速度が速くなり、ユーザーエクスペリエンスがスムーズになります。
- **kMigratorExtract.sh**スクリプトと**kMigratorImport.sh**スクリプトを使用して、あるインスタンスから別のインスタンスに_intentを移行できるようになりました。

詳細については、[PPM Chatbot](#)、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

使いやすさの向上

以下の領域での使いやすさが向上します。

リクエスト内のテーブルコンポーネント

リクエストの詳細ページの**テーブルコンポーネント**の外観が一新され、より直感的なユーザーエクスペリエンスが実現しました。

詳細については、[Work with tables in requests](#) および[Configure landing pages](#)を参照してください。

ランディングページの設定

[ランディングページの設定] ページが更新され、よりユーザーフレンドリーなユーザーエクスペリエンスが提供されるようになりました。

詳細については、[Work with tables in requests](#) および[Configure landing pages](#)を参照してください。

設定アドバイザー	<p>[設定アドバイザー] ページはより使いやすくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 推奨事項の詳細はカードに表示されるため、スクロールしなくてもすべての情報が一目でわかります。• [推奨ステップ] には、機能の切り替えやサーバーパラメーターの構成ページへの直接リンクが含まれており、迅速な調整が可能です。 <p>詳細については、Configuration Advisorを参照してください。</p>
セルフサービスポートレットのグリッドテーブル	<p>セルフサービスポートレットのグリッドテーブルのセルでは長いテキストが自動的に折り返されるようになり、読みやすさと表示が向上しました。</p> <p>詳細については、Set up self-service portletsを参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

全員でチームを共有する	<p>チーム共有に新しい [すべてと共有] オプションが利用できるようになりました。これを使用すると、チームまたは特定のチームメンバーをシステム内のすべてのプロジェクトと共有できます。共有されると、どのプロジェクトマネージャーでも共有リソースをプロジェクトスタッフィングプロファイルに割り当てることができます。</p> <p>詳細については、Share a teamを参照してください。</p>
[ロードマップ] タブに保証の割り当てを含める	<p>割り当てに加えて、チームの保証の割り当ても、[ロードマップ] タブから利用できます。</p> <p>詳細については、Team Roadmapを参照してください。</p>

スタッフィングプロファイル統計データソースの更新

定義済みの **[スタッフィングプロファイル統計]** データソースに、さらに多くのフィルターオプションが含まれるようになりました。スタッフィングプロファイルに関連付けられたプロジェクト、提案、または資産から、ポジションおよびカスタムフィールド別にデータをフィルターできます。

カスタムフィールドによるフィルタリングを有効にするには、管理者はまず、関連するフィールドを、スタッフィングプロファイル統計データソースのデータソースフィールドとして追加する必要があります。

詳細については、[Staffing Profile Statistics](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

[数字] および [通貨] フィールドの文字数制限の拡大

[数字] フィールドと [通貨] フィールドでは最大30文字がサポートされるようになり、より大きな数値や通貨の値を入力できるようになりました。

詳細については、[Configure text field validations](#)を参照してください。

一度に複数の添付ファイルを追加する

エンティティへの参照としてドキュメントを添付するときに、一度に複数のファイルを選択して追加できるようになりました。

詳細については、[Add an attachment](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

メインメニューのスタイルを設定する	<p>メインメニューは次のカスタマイズをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">• メニュー項目を画面の左側に垂直に配置するか、画面の上部に水平に配置するかを選択します。• 最上位のメニュー項目とマストヘッドアイコンの色を選択します。 <p>詳細については、Customize menu layoutを参照してください。</p>
テーマ構成のエクスポートとインポート	<p>テーマ構成をJSONファイルとして保存し、別のインスタンスにインポートできるようになりました。</p> <p>詳細については、Export and import theme configurationsを参照してください。</p>
ライセンス有効期限通知	<p>新しいライセンス管理サービスを使用して、次のようなライセンスの有効期限切れに関する電子メール通知を構成できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 通知の受信者の指定。• 通知を送信するタイミング。• 再送信頻度。 <p>詳細については、License Management Serviceを参照してください。</p>

リクエスト管理の機能拡張

以下の機能拡張がリクエスト管理モジュールに追加されました。

リクエストの意図しないタイムスタンプの更新を防ぐ	<p>新しいIS_REQUEST_UPDATED_WHEN_REFERENCED_TASK_CHANGESパラメーターが導入されました。関連するタスクまたはマイルストーンが更新されたときにリクエストの最終更新日を変更したくない場合は、これをfalseに設定します。</p> <p>詳細については、Server parametersを参照してください。</p>
エラーメッセージの改善	<p>テーブルコンポーネント内の未入力の必須フィールドに関するエラーメッセージがよりわかりやすくなりました。これらのフィールドに直接移動できるようになりました。</p>

PowerPointレポートの更新

PowerPointレポートのテキストに太字、斜体、下線の書式を適用できるようになりました。

詳細については、[PowerPoint and Word reports](#)を参照してください。

新しいREST API

GET/tm/timeSheets/freezableという新しいREST APIを使用して、ログインしたユーザーが凍結できるタイムシートを取得できるようになりました。

詳細については、[Interactive REST API Help](#)を参照してください。

 参照:

- [What's new in earlier versions](#)
- [PPMのReadme](#)

以前のバージョンの新機能

このセクションでは、以前のバージョンで導入または拡張された機能の概要を説明します。

(missing or bad snippet)

25.1の新機能

次の新機能と拡張機能が25.1で導入されました。

注: バージョン24.4から25.1のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、25.1で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン24.4の拡張機能を表示するには、[以前のバージョンの新機能 \(47ページ\)](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

What-ifテンプレートの機能強化	<p>what-ifテンプレートには次の更新が導入されています。</p> <ul style="list-style-type: none">• ポートフォリオ戦略テーマの需要とキャパシティを表示するために、[戦略キャパシティインジケータ] ウィジェットが追加されました。• [ランキングビュー] ウィジェットで、[数値 (式)] タイプのカスタムフィールドの追加がサポートされるようになりました。これにより、定義した数式によって計算された値を表示できます。• [積み上げ棒グラフ] チャートウィジェットが追加され、データの視覚化のための追加オプションが提供されます。• すべてのチャートウィジェットにカウント集計方法が追加され、シナリオ項目の発生回数を表示できるようになりました。• [会計年] 期間オプションが利用可能になり、シナリオデータを年ごとに表示できるようになりました。 <p>詳細については、Configure widgetsを参照してください。</p>
what-ifシナリオをコピーする	<p>what-ifシナリオをコピーできるようになり、さまざまなユースケースに合わせて既存のシナリオを複製および変更できるようになりました。</p> <p>詳細については、What-ifシナリオのコピーを参照してください。</p>
シナリオにステータスを割り当てる	<p>シナリオにステータスを割り当てることができるようになりました。これにより、進捗状況を追跡し、実装の準備が整ったシナリオなどの主要なシナリオを特定できるようになります。</p> <p>詳細については、シナリオのステータスを設定するを参照してください。</p>

シナリオのロック

最適なシナリオを見つけたら、実装前に意図しない変更を防ぐためにそれをロックすることができます。

詳細については、[シナリオのロック](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

次の拡張機能がポートレットに追加されました。

**階層的な
ポートレッ
トの色のカ
スタマイズ**

管理者は、同じデータタイプに対して一貫した色の表示を確保するために、さまざまなレベルでポートレットの色をカスタマイズできます。

- **ポートレットデータソースレベル:** ポートレットデータソースに列を追加して、色とデータ間のマッピングを指定できます。このカスタマイズは、データソースを使用するすべてのポートレットに適用されます。
- **システムレベル:** ポートレットがロードされる順序に基づいてポートレットに色を割り当てるカラーパレットを定義できます。特定のデータポイントに色を指定することもできます。このカスタマイズは、データソースで色が定義されていないポートレットに適用されます。

詳細については、[Customize portlet colors](#)を参照してください。

**スタッフィ
ングプロ
ファイル統
計データ
ソースの更
新**

定義済みの**スタッフィングプロファイル統計**データソースを使用するセルフサービスポートレットで、次の操作を実行できるようになりました。

- スタッフィングプロファイルの割り当てとリソースを表示します。
- ロール、関連エンティティ、期間別にポートレットデータをフィルターします。

詳細については、[Staffing Profile Statistics](#)を参照してください。

**セルフサー
ビスポート
レットにリ
クエスト数
を表示する**

リクエストタイプから作成されたセルフサービスポートレットデータソースに **[個数]** 列が追加されます。この列では、さまざまなステータスのリクエストの合計数を表示できます。

詳細については、[Create from request type fields](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

<p>既存のポートフォリオに変更を反映する</p>	<p>ポートフォリオタイプを構成して、概要のレイアウトの変更をそのタイプの既存のすべてのポートフォリオに反映できるようになりました。変更内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したポートレットをポートフォリオに追加。 • ポートフォリオの概要レイアウト設定をリセット。 <p>詳細については、Reset Overview Layout for Existing PortfoliosおよびAdd Portlets to Existing Portfoliosを参照してください。</p>
<p>KPIインパクト発効日に関する新しいオプション</p>	<p>プロジェクトと提案がKPIに与える影響を予測する際に、新しい[特定の日付] オプションを使用して特定の発効日を選択できるようになりました。</p> <p>詳細については、Forecast project contributions to KPIsを参照してください。</p>
<p>戦略的調整の強化</p>	<p>戦略的調整が強化されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 提案がプロジェクトになると、戦略テーマとビジネスゴールが提案からプロジェクトに引き継がれます。これにより、継続的な戦略的調整が保証されます。 • プログラムに追加されたエンティティの場合、その予測コストとリソースデマンドは、プログラムの戦略テーマに反映されるようになりました。これにより、戦略的調整の粒度が向上します。 <p>詳細については、Align portfolio contents with strategic themesおよびDrive strategic alignmentを参照してください。</p>

使いやすさの向上

次の使いやすさの機能拡張が追加されました。

<p>現在のステップが進捗バーで強調表示されます</p>	<p>リクエストの進捗バーで現在アクティブなステップが強調表示されるようになり、完了したステップや非アクティブなステップと区別しやすくなりました。</p> <p>詳細については、Display workflow progress on request pagesを参照してください。</p>
<p>為替レートの使いやすさの向上</p>	<p>[財務為替レート] ページがより使いやすくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [通貨] 列は左側に固定されており、スクロールしなくても常に表示されます。 • 発効日順に並べられており、最新日の為替レートが一番左に表示されます。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

ヘルプメニューのカスタマイズ	<p>[管理] > [メニューのカスタマイズ] から、メニュー項目を追加、編集、削除、エクスポート、インポートして、[ヘルプの表示] メニューをカスタマイズできるようになりました。</p> <p>詳細については、Customize menusを参照してください。</p>
通知設定をグローバルに制御する	<p>すべてのユーザーに対するあらゆる種類の電子メール通知の設定を1つの画面から制御できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• システムレベルで電子メール通知を有効または無効にします。• 個々のユーザーがシステムレベルの設定を上書きすることを許可または禁止します。• 個々の設定をシステムレベルの設定にリセットします。 <p>詳細については、Configure notifications for all usersを参照してください。</p>
kMigratorを使用してカスタムメニューを移行する	<p>これで、kMigratorExtract.shおよびkMigratorImport.shスクリプトを移行に使用できます。</p> <p>詳細については、kMigratorExtract.shおよびkMigratorImport.shを参照してください。</p>
PPMアドバイザー	<p>管理者向けに新しいページ [PPMアドバイザー] が導入されました。システムパフォーマンスを向上したり、ベストプラクティスに準拠したりするための構成の推奨事項を提供します。</p> <p>詳細については、PPM Advisorを参照してください。</p>

PPMAPI

JavaScript APIであるPPMAPIが導入されました。カスタムコードでこれを使用して、次の操作を実行できます。

- **PPMAPI.context:** 現在のページ (ダッシュボードまたはリクエストの詳細ページ) のコンテキスト情報を取得します。
- **PPMAPI.reports.submit(...):** ユーザーがHTML+ポートレットから直接レポートを送信できるようにします。

詳細については、[PPMAPI](#)を参照してください。

残存キャパシティがない共有リソースをアサインする

リソースがプロジェクトと共有されている場合、リソースに残存キャパシティがない場合でも、プロジェクトマネージャーはリソースをプロジェクトにアサインすることができます。プロジェクトマネージャーは、必要に応じてリソースにキャパシティを割り当てることができます。

詳細については、[Assign shared resources to a project staffing profile](#)を参照してください。

タイムシートの自己承認を制限する

新しい**TM_RESTRICT_TO_APPROVE_OWN_TIMESHEETS**パラメーターを使用すると、エンドユーザーが自分のタイムシートを承認できないようにすることができます。

詳細については、[Restrict time sheet self-approval](#)を参照してください。

PPTレポートの更新

PowerPointレポートでは、引き続きより多くのデータ表示オプションが提供されます。次のことが可能です。

- 各スライドに指定された数のレコードを表示するようにページ区切りを設定します。
- 特定の列でレコードをグループ化します。

詳細については、[PowerPoint and Word reports](#)を参照してください。

Digital.ai Agility統合の更新

PPMは、Digital.ai Agilityとの統合のためのAPIトークン認証をサポートするようになりました。

詳細については、[Add a Digital.ai Agility agile instance](#)を参照してください。

 参照:

- [以前のバージョンの新機能 \(47ページ\)](#)
- [PPMのReadme](#)

24.4の新機能

次の新機能と拡張機能が24.4で導入されました。

サイドナビゲーションメニュー

このリリースでは、エンドユーザーと管理者向けにそれぞれ2つの独立した新しいデザインのサイドナビゲーションメニューセットが導入され、すべてのロールでより簡単なナビゲーションが実現します。

- エンドユーザーと管理者用の別々のサイドナビゲーションメニューエントリ (エンドユーザー用のメインメニュー☰、管理者用の管理⚙️メニュー)。
- 両方のサイドナビゲーションメニューセットは、製品モジュール別に整理されています。

詳細については、[Browse the menu](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

Web UIからリクエストヘッダータイプを構成する

Workbenchを開かなくても、Web UIからリクエストヘッダータイプを構成できるようになりました。

詳細については、[Configure request header types from Web UI](#)を参照してください。

Web UIからリクエストタイプフィールドを構成する

Web UIからリクエストタイプフィールドを構成するときに、セクション間でフィールドを移動したり、新しいセクションを追加したり、セクションの位置を調整したりできるようになりました。

詳細については、[Configure request type field layout \(web UI\)](#)を参照してください。

相互フィールドで関連するリクエストを指定する	<p>関連するリクエストを表示するためのリクエストカスタムタブを追加する場合、相互フィールドによって関係を指定できます。</p> <p>詳細については、Use reciprocal fieldを参照してください。</p>
Web UIからリクエストタイプの編集アクセスを構成する	<p>Web UIから特定のリクエストタイプを編集できるユーザーグループを構成できるようになりました。</p> <p>詳細については、Securityを参照してください。</p>
リクエストの検索ページの新しいフィルター	<p>新しい[リクエストフィールドの変更履歴の内容]フィルターを使用すると、フィールド変更履歴に含まれるキーワードでリクエストを検索できます。</p> <p>詳細については、Search for requests by generic request field valuesを参照してください。</p>
テキスト領域フィールドのリアルタイム文字数カウント	<p>テキスト領域フィールドを編集するときに、文字数制限と比較したリアルタイムの文字数が表示されるようになりました。</p>

Web UIからメニューをカスタマイズする

Web UIからメニューをカスタマイズできるようになりました。これには、メニュー項目の追加、編集、移動、およびメニューのエクスポートとインポートが含まれます。

この機能を使用するには、[[サイドナビゲーションメニュー](#)]機能の切り替えをオンにします。

詳細については、[Customize menu from Web UI](#)を参照してください。

ダウンロード前にファイルをプレビューする

添付ファイルやサーバーディレクトリファイルをダウンロードする前にプレビューできるようになりました。

詳細については、[Preview and download attachments](#)および[Preview and download individual files](#)を参照してください。

既存のプログラムに変更を反映する

プログラムタイプを構成して、概要のレイアウトの変更をそのタイプの既存のすべてのプログラムに反映できるようになりました。変更内容は次のとおりです。

- 選択したポートレットをプログラムに追加。
- プログラムの概要レイアウト設定をリセット。

詳細については、[Add Portlets to All Programs](#)および[Reset Overview Layout for Existing Programs](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

取り消されたリソースリクエストに関する通知を制御する	リソースプールからリソースリクエストが取り消されたときに通知を送信するかどうかを選択できるようになりました。 詳細については、 Modify resource pool notifications を参照してください。
スタッフィングプロファイルステータスによるポジションの検索	予測デマンドを管理する際に、新しい スタッフィングプロファイルステータス フィルターを使用してポジションを検索できるようになりました。これにより、特定のスタッフィングプロファイルからのデマンドに焦点を絞ることができます。 詳細については、 Search filter を参照してください。

ポートレットの機能拡張

ポートレットに次の更新が追加されました。

セルフサービスポートレットでデータの視覚化をカスタマイズするオプション	セルフサービスポートレットでは、以下のカスタマイズがサポートされるようになりました。 <ul style="list-style-type: none">• サンキーダイアグラムのヒント• クラスタグラフ、積み上げグラフ、円グラフ、ドーナツグラフの色 これらのオプションにより、ニーズに合わせてデータを視覚化するための柔軟性が向上します。 詳細については、 Tooltip および Color Setting を参照してください。
--	---

セルフサービスポートレットの新しいデータソース: スタッフィングプロファイル統計	スタッフィングプロファイル統計 データソースを使用して、スタッフィングプロファイルまたはチームのデマンドと履行データを表示できるようになりました。これにより、スタッフィングプロファイルとチーム分析の柔軟性が向上します。 詳細については、 Staffing Profile Statistics を参照してください。
セルフサービスポートレットのグリッドビューでリクエスト番号がクリック可能に	リクエストタイプフィールドをセルフサービスポートレットデータソースとして使用すると、グリッドビューの[リクエスト番号]フィールドがクリック可能になり、リクエストの詳細ページが開きます。 詳細については、 Create portlet data sources from request types を参照してください。
開発モードでHTML+ポートレット定義をコピーする	本番モードと開発モードの両方でHTML+ ポートレット定義をコピーできるようになりました。これにより、新しい変更を展開する前に、現在の定義のコピーを保存できます。 詳細については、 Copy a portlet definition を参照してください。

個人設定の更新

次の個人設定を設定できるようになりました。

マイリンクからホームページを設定する	ランディングページの名前が ホームページ に変更され、[マイリンク] リストから設定されるようになりました。 詳細については、 Set your homepage を参照してください。
通知プリファレンスの設定	[マイプロフィールの編集] ページでは、通知オプションがモジュール別に分類されており、通知を受け取るイベントを選択できます。 注記: これはベータ機能です。 詳細については、 Configure notifications を参照してください。

カスタム企業ロゴがSVGファイルをサポート

カスタム企業ロゴも .SVGファイルをサポートするようになりました。

詳細については、[Change corporate logo](#)を参照してください。

機能切り替えの更新

次の新しい機能の切り替えを使用して、機能の使用を制御できるようになりました。

機能の切り替え	説明
Navigatorを使用してレポートを送信	Navigatorによるレポート送信を有効または無効にします。
ダッシュボードをPowerPoint (PPTX) にエクスポート	ダッシュボードのPowerPointへのエクスポートを有効または無効にします。

詳細については、[Submit a report](#)および[Export dashboard pages](#)を参照してください。

作業計画にWBSを表示する

作業計画のクイックビューでWBS (作業の内訳) 情報を表示できるようになりました。これにより、タスク構造とプロジェクトコンポーネントをよりよく理解できるようになります。

この情報を表示するには、クイックビューで **[WBS]** 列を選択します。

詳細については、[Quick View](#)を参照してください。

PPM - Jira統合の更新

作業計画タスクをJiraプロジェクトと統合する場合、管理者は同期用のデータを取得するJira課題タイプを構成できるようになりました。これにより、作業計画タスクと同期する特定のデータを選択する際の柔軟性が向上します。

詳細については、[Work Plan Integration Options](#)を参照してください。

拡張オペレーティングシステムサポート

このリリースには、Amazon Linuxバージョン2003のサポートが含まれるようになりました。

詳細については、[Support Matrix](#)を参照してください。

新しいREST API

次の新しいREST APIを使用してタイムシートを管理できるようになりました。

REST API	説明
POST/tm/timeSheets/{timesheetId}/actions/freeze	特定のタイムシートを固定します。
POST/tm/timeSheets/{timesheetId}/actions/close	特定のタイムシートを閉じます。

詳細については、[Interactive REST API Help](#)を参照してください。

OracleディクショナリビューでSQLクエリを実行する

SQL Runnerを使用すると、Oracleデータベースのデータディクショナリビューに対してクエリを実行できるようになりました。

詳細については、[Run SQL queries from standard interface](#)を参照してください。

ユーザーインポートの更新

ユーザーのインポートレポートによって既存のユーザーが無効にされているかどうかに関係なく、ユーザーをインポートするときに保護された使用は常にアクティブなままになります。これにより、SaaS管理者などの重要なアカウントが、各インポート後にアクティブな状態を維持し、アクセス可能になります。

詳細については、[Designate protected users](#)および[Disable Users Not Imported](#)を参照してください。

ヘルプセンターのデザインを更新

新しいデザインには新しいサイドメニュー構造が含まれており、トピックの可視性が高まり、ナビゲーションが簡単になります。オンラインヘルプのレイアウト問題を解

決するには、**Ctrl+F5**を押してブラウザを強制更新します。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

24.3の新機能

次の新機能と拡張機能が24.3で導入されました。

注: バージョン24.1から24.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、24.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン24.1~24.2の拡張機能を表示するには、[What's New in PPM - Earlier Versions](#)を参照してください。

Web UIからリクエストタイプを管理する

PPM Workbenchを開かなくても、Web UIからリクエストタイプを作成および構成できるようになりました。

詳細については、[Create request type fields \(web UI\)](#)および[Configure request type field layout \(web UI\)](#)を参照してください。

簡素化されたリソース割り当て

これはベータ機能です。

チームマネージャーは、チームまたはチームメンバーをプロジェクト、プロジェクトのタイプ、または他のユーザーと共有できるようになりました。これにより、チームマネージャーとプロジェクトマネージャーの両方にとってリソースの割り当てがより効率的になります。

- プロジェクトマネージャーは、リソースリクエストを送信せずに、共有リソースをプロジェクトに直接割り当てることができます。

- リソースを共有した後は、チームマネージャーはこれらのリソースの割り当てを処理する必要がなくなります。

詳細については、[Share a team with project staffing profile](#)および[Add shared resources to a project staffing profile](#)を参照してください。

Navigatorを使用してレポートを送信

Navigatorを操作することで、より少ないクリック数でレポートを送信およびダウンロードできるようになりました。

詳細については、[Submit a report](#)を参照してください。

リクエストタイプからデータソースを作成する

管理者は、リクエストタイプからダッシュボードSQLデータソースとセルフサービスポートレットデータソースを作成できるようになりました。これにより、データソースの作成が簡素化され、時間が節約されます。

詳細については、[Use request type fields as portlet data source](#)および[Use request types as self-service data sources](#)を参照してください。

進捗バーからリクエストの進捗を表示する

管理者が特定のワークフローステップを重要なステップとしてマークすると、リクエスト詳細の上部に進捗バーが表示され、これらの重要なステップが表示されます。進捗バーでは、リクエストがワークフローのどの段階にあるかが明確にわかります。

詳細については、[Display workflow progress on request pages](#)を参照してください。

機能切り替えの更新

管理者は、拡張されたオートコンプリートリストを使用するかドロップダウンリストを使用するかを制御する個別の機能切り替えを使用できるようになり、機能管理の柔軟性が向上します。

詳細については、[New drop-down and auto-complete lists](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

ポートレットに次の更新が追加されました。

セルフサービスポートレットにおけるデータ視覚化の機能拡張	<p>セルフサービスポートレットによりデータの視覚化が機能拡張されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• クラスタグラフと積み上げグラフでは、各バーの横に数値を表示するかどうかを選択できます。• グリッドの場合、下部にレコードの合計数を表示するかどうかを選択できます。 <p>詳細については、Set up display options for a self-service portletを参照してください。</p>
セルフサービスポートレットの列の並べ替え順序を指定する	<p>管理者は、セルフサービスポートレット内の列の並べ替え順序を定義できるようになりました。表示されるとき、これらの列は定義された順序で並べ替えられます。</p> <p>詳細については、Sort Byを参照してください。</p>
セルフサービスポートレットの日付フィールドの機能拡張	<p>セルフサービスポートレットの日付フィールドは、テキストではなく日付として扱われるようになり、「開始」や「終了」などのオプションを使用してデータをフィルタリングしたり、日付列を並べ替えてデータを時系列順に並べたりする機能がサポートされるようになりました。</p> <p>詳細については、Set up display options for a self-service portletを参照してください。</p>
マイルストーンサマリポートレットの更新	<p>マイルストーンサマリポートレットでは、最大表示で最大1,000個のマイルストーンを表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、View project milestonesを参照してください。</p>

プログラムメモのリッチテキストのサポート

プログラムメモでもリッチテキスト形式がサポートされるようになりました。

詳細については、[Rich text formatting in Notes area](#)を参照してください。

シングルサインオンのセッション言語を設定する

[[マイプロファイルの編集](#)] ページからシングルサインオン経由で接続するときに、PPMのセッション言語を設定できるようになりました。

詳細については、[General settings](#)を参照してください。

PPTおよびWordレポートの更新

PowerPointおよびWordレポートでは、PPMから取得したデータを表示するためのオプションがさらに提供されるようになりました。各データセットをPowerPointの個別のスライドに表示したり、Wordの個別の段落として表示したりできます。

詳細については、[PowerPoint and Word reports](#)を参照してください。

ポートフォリオコンテンツの数を制御する

ポートフォリオに含めるエンティティの最大数を制御するために、次の2つの新しいパラメーターが追加されました。

- **PORTFOLIO_MAX_PORTFOLIOS:** ポートフォリオに含めることができるサブポートフォリオの最大数を制御します。
- **PORTFOLIO_MAX_PROGRAMS:** ポートフォリオに含めることができるプログラムの最大数を制御します。

詳細については、[Server parameters](#)を参照してください。

フィンランド語のサポート

このリリースでは、フィンランド語のサポートが追加されました。

詳細については、[Supported languages](#)を参照してください。

エンティティ移行の更新

Web UIを使用してエンティティを移行する場合、移行するエンティティがターゲットインスタンスにすでに存在する他のエンティティを参照している場合、参照されているエンティティは、移行対象として選択されていない限り置き換えられません。これにより、意図しない上書きを防ぐことができます。

詳細については、[Migrate entities from web UI](#)を参照してください。

Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ

Oracle E-Business Suiteのデプロイメント管理拡張機能に、新しいオブジェクトタイプが含まれるようになりました。**FNDLOAD-AOL: Single Report Group Unit**

Migration。 OracleのFNDLOADユーティリティを使用して、ソース環境のレポートグループからターゲット環境への単一コンポーネントの移行を自動化できます。

詳細については、[PPM extensions and migrators](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

24.2の新機能

次の新機能と拡張機能が24.2で導入されました。

注: バージョン24.1から24.2のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、24.2で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン24.1の拡張機能を表示するには、[24.1の新機能 \(67ページ\)](#)を参照してください。

ポートフォリオ計画における依存関係管理

ポートフォリオ依存関係管理には、ポートフォリオマネージャーが依存関係を識別し、制限を解決するのに役立つ次の拡張機能が含まれています。

- 依存関係マップ上の先行タスクと後続タスクの依存関係を可視化します。
- シナリオ計画中に依存関係違反を警告します。これにより、迅速な制限解決、効果的な依存関係管理、ポートフォリオ計画との整合性が確保されます。

詳細については、[View dependencies](#)および[View portfolio dependencies](#)を参照してください。

Navigator Aviator

Navigator Aviatorは、PPMメニューまたはエンティティを対話的に検索できる会話型検索ツールです。

可用性: Navigator Aviatorは、**ENABLE_NAVIGATOR_AVIATOR**パラメーターがtrueに設定されている場合に、英語セッションでのみ使用できます。

詳細については、[Navigator Aviator](#)を参照してください。

PostgreSQLデータベースの公式サポート

PostgreSQLデータベースは、PPMの新規インストールで正式にサポートされるようになりました。多言語サポートも追加されます。

注記: 公式サポートは、Oracleデータベースから移行された環境には適用されません。

詳細については、[Installation and upgrade](#)の「PostgreSQLを使用したPPMのインストール」セクションを参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストを作成および管理するための新しいページ

デマンド管理に [[リクエスト](#)] ページが導入されています。これは、最新のカスタマイズ可能なUIビューを使用して、あらゆるリクエストタイプのリクエストを効果的に作成および管理できる統合プラットフォームです。

詳細については、[Filter requests by all request types](#)および[Create a new request from the Requests page](#)を参照してください。

テーブルに添付ファイルを追加する

リクエスト内のテーブルに添付ファイルを追加できるようになりました。

これは、管理者がテーブルに添付ファイルタイプの列を含めるようにリクエストタイプを構成すると有効になります。

詳細については、[Configure table component](#)を参照してください。

PDFにエクスポートするタブを選択する

リクエストをPDFにエクスポートするときに、エクスポートするリクエストタブを選択できます。

詳細については、[Share a request](#)を参照してください。

リクエストに静的カスタムUI要素を追加する	管理者は、クリック可能なボタンなどの静的UI要素をリクエストに追加できます。
	<p>これを実装するには、[HTML - 定数レンダリング HTMLコード] データマスクを使用してテキスト領域フィールドを構成し、UI要素のカスタムHTMLコードを設計します。</p> <p>詳細については、Configure text area validationsを参照してください。</p>
リッチテキストフィールドには文字数制限がない	リッチテキストフィールドには文字数制限がないため、このようなリクエストフィールドに大量のテキストと書式を入力できます。
	<p>この機能は、新しいALLOW_NO_SIZE_LIMIT_RICH_TEXT_FIELDパラメーターがtrueに設定されている場合に使用できます。</p> <p>詳細については、HTML - Rich Text Fieldを参照してください。</p>
追加のリクエストタブを折りたたむ	リクエストに表示しきれないほど多くのタブが含まれている場合、追加のタブは [その他] メニューからアクセスできるようになりました。
	詳細については、 Display additional tabs を参照してください。
リクエストページのタイトルからリクエスト名を読み取る	リクエスト名が指定されている場合は、リクエストページのタイトルからわかります。

クローズされたリクエストの時間管理

クローズされたリクエストに対する時間管理制限が有効になっている場合、次の操作も禁止されます。

- 終了したリクエストに記録された時間を編集する。
- タイムシートをコピーするときに、終了したリクエストを含める。

詳細については、[Log time in your time sheet](#)および[Copy a time sheet](#)を参照してください。

プロジェクトガントポートレットの更新

管理者は、プロジェクトガントポートレット設定の [**プログラム**] フィールドにカスタム検証を使用できます。これにより、プログラムマネージャーはプログラムごとにプロジェクトを簡単にフィルター処理できるようになります。

詳細については、[Use custom validations for OOTB fields](#)を参照してください。

メモのリッチテキストをサポート

プログラム内のものを除くPPMエンティティのノート内のテキストをフォーマットできるようにになりました。

この機能は、新しい [**ユーザメモにリッチテキストを使用する**] 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

詳細については、[Rich text formatting in Notes area](#)を参照してください。

最新のPPMバージョンへの直接アップグレード

Oracleデータベース上で実行されるPPMの場合:

- **PPM 2023以降の場合:** 以降のバージョンにアップグレードできます。
- **2023より前のバージョンの場合:** まず2023にアップグレードし、その後、それ以降のバージョンにアップグレードできます。

詳細については、[Installation and upgrade](#)を参照してください。

簡素化されたAutopassライセンスのインストール

Autopassライセンスのインストールは、次の機能強化により簡素化されました。

- ライセンスの有効日より前の事前インストールをサポートします。
- コマンドラインからライセンスをインストールする場合、サーバーの再起動は必要ありません。

詳細については、[Install licenses](#)を参照してください。

Oracle EBS拡張機能の新しいオブジェクトタイプ

Oracle E-Business Suiteのデプロイメント管理拡張機能には、OracleのFNDLOADユーティリティを使用する5つの新しいオブジェクトタイプが含まれるようになりました。

た。これにより、責務、機能、レポートグループ、レポートセット、および付加フ
レックスフィールドの移行を自動化できます。

詳細については、[PPM extensions and migrators](#)を参照してください。

機能切り替えの更新


次の拡張機能が機能の切り替えに追加されました。

新しい機能タイプ: 廃止	新しい機能タイプ [廃止] が追加されました。廃止の機能は将来のバージョンで削除される予定です。廃止の機能の使用を中止することをお勧めします。 詳細については、 Feature types を参照してください。
起動時に機能ステータスを確認して適切に使用する	適切な機能の使用を保証するために、PPMは起動時に [標準機能候補] 機能と [廃止] 機能のステータスをチェックし、正しく設定されていない場合はサーバーログに警告メッセージを追加します。 詳細については、 Startup checks を参照してください。

32ビットJVMサポートを中止

このバージョンから、PPMは32ビットJava仮想マシン (JVM) のサポートを中止します。PPMを実行するには、64ビットJVMを使用する必要があります。

詳細については、[PPM Support Matrix](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

24.1の新機能

次の新機能と拡張機能が24.1で導入されました。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

より多くのフィールドでバックログ項目をフィルターおよびグループ化する	<p>ラジオボタン、チェックボックス、テキストエリア、タグなど、より多くの種類のフィールドでポートフォリオバックログアイテムをフィルタリングおよびグループ化できるようになりました。</p> <p>詳細については、Portfolio backlog contents viewsを参照してください。</p>
バックログボードビューの機能強化	<p>[バックログ] タブのボードビューが強化されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 空の列とスイムレーンを非表示にして、データをより明確に表示できます。• 列の合計がボードの上部に表示されるようになりました。 <p>詳細については、Board viewを参照してください。</p>
バックログロードマップビューの機能強化	<p>[バックログ] タブのロードマップビューでは、次のことができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 好みに合わせてガントチャートのバーの色を構成します。• どのバックログ項目情報をツールチップとして表示するかを設定します。• ロードマップビューを画像としてエクスポートします。 <p>詳細については、Set Backlog Roadmap View Default LayoutおよびExport Roadmap Gantt as PNGを参照してください。</p>
ポートフォリオのレイアウト設定を共有する	<p>[バックログ] タブと [財務] タブで個人のレイアウト設定を共有できるようになり、すべての利害関係者が一貫したレイアウト設定で同じポートフォリオを表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、Share portfolio layout settingsを参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストにカスタムタブを追加する	<p>カスタムタブをリクエストタイプに追加し、ユーザーがタブ上で次の操作を行えるようにタブを構成できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 特定のタイプの参照されたリクエストを表示します。• 特定の関係タイプの参照として新しいリクエストを作成します。 <p>詳細については、Add custom tabsおよびAdd references from a custom tabを参照してください。</p>
新規検証コンポーネントタイプ: タグ	<p>新規検証コンポーネントタイプ: タグが追加されました。リクエストにタグフィールドを追加すると、ユーザーはリクエストの識別子としてタグを追加できるようになります。</p> <p>詳細については、Use validationsおよびAdd tags to requestsを参照してください。</p>
リクエスト詳細の拡張リストフィールド	<p>外観と操作性が刷新され、リクエストの詳細ページのドロップダウンリストとオートコンプリートリストがよりユーザーフレンドリーなエクスペリエンスを提供するようになりました。</p> <p>この新しい機能を使用するには、[新しいドロップダウンリストとオートコンプリートリストを使用する]機能の切り替えを有効にします。</p> <p>詳細については、View requestsを参照してください。</p>
リクエストタイプルールの新しい依存関係条件	<p>リクエストタイプルールに2つの新しい依存関係条件が含まれるようになりました: [はテキストを含む] および [は次を1つ以上含む]。</p> <p>以前は複数のルールが必要であったところを1つのルールだけを定義することで、リクエストルールを簡素化するのに役立ちます。</p> <p>詳細については、Create advanced request type rulesを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

インターフェイスのカスタマイズが拡張されました	<p>次の方法で、PPM標準インターフェイスをより広範囲にカスタマイズできるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• ボタンやダイアログボックスの見出しなどのUI要素の色の構成。• カスタムCSSコードを適用して、デフォルトのスタイルをオーバーライド。 <p>詳細については、Customize PPM interfaceを参照してください。</p>
APIキーをベアラートークンとして使用する	<p>ベアラートークンとして有効にすると、APIキーをREST認証ヘッダーで直接使用できます。</p> <p>詳細については、Enable API keys as bearer tokensおよびBearer authenticationを参照してください。</p>
PowerPointにエクスポート	<p>データの共有と分析のために、次のものをPowerPointにエクスポートできるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• プロジェクト概要• プログラムダッシュボード• ポートフォリオの [概要] タブ• チームの [概要] タブ• ダッシュボードページ <p>詳細については、Export your project and work plan、Export program dashboards、Export portfolio overview、Export the Overview tab、Export PPMダッシュボード pagesを参照してください。</p>
管理コンソールでパスワードポリシーパラメーターを設定する	<p>管理コンソールで次のパラメーターを構成して、ユーザーパスワードの制約を定義できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• USER_PASSWORD_MIN_UPPERCASE_LETTERS• USER_PASSWORD_MIN_LOWERCASE_LETTERS <p>詳細については、Security Guideを参照してください。</p>

強化されたサポート情報生成

PPMは管理コンソールのkSupportツールを拡張し、サポート情報を生成するための簡素化されたより効率的なユーザーエクスペリエンスを提供します。

詳細については、[Gather information for Software Support from the Administration Console](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

任意のPPMページをデスクトップのランディングページとして設定する

PPM管理者は、ダッシュボードページに加えて、任意のPPMページを特定のユーザーグループのPPMデスクトップクライアントランディングページとして設定できるようになりました。

管理者が許可した場合、個々のユーザーは任意のPPMページをPPMデスクトップクライアントのデフォルトのランディングページとして設定し、管理者が指定したランディングページをオーバーライドできます。

詳細については、[Configure PPM landing pages](#)および[Set your landing page](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの新しいビュータイプ: ボード

新しい表示タイプ: **ボード**がセルフサービスポートレットに追加され、データをボード上にカードとして表示できるようになります。

詳細については、[Set up self-service portlets](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

What-ifテンプレートの機能強化	<p>What-ifテンプレートにより、What-If分析の柔軟性が強化されました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 新しいウィジェットタイプ: インジケータグラフが追加され、数値フィールドの集計値を表示できるようになります。• ランキングビューコンポーネントにカスタムフィールドを追加できるようになりました。 <p>詳細については、Define what-if layout templatesを参照してください。</p>
シナリオを共有する	<p>what-ifシナリオを他のユーザーと共有してコラボレーションできるようになりました。</p> <p>詳細については、Share a scenarioを参照してください。</p>

レポートの機能拡張

次の拡張機能がPPMレポートに追加されました。

新しいレポートタイプ: PowerPointおよびWordレポート	<p>2つの新しいレポートタイプ: PowerPointレポートとWordレポートが導入され、PPMレポートを作成するための追加オプションが提供されます。</p> <p>詳細については、PowerPoint and Word reportsを参照してください。</p>
完了したレポートについてユーザーグループに通知する	<p>個々のユーザーに加えて、レポートの完了に関する電子メール通知をユーザーのグループに送信できるようになりました。</p> <p>詳細については、Submit reportsを参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

ポジションをインポートまたはコピーするときに、必要な特定リソースをコピーする	別のスタッフィングプロファイルからポジションをインポートまたはコピーする場合、これらのポジションで要求されたリソースもインポートすることを選択できます。 詳細については、 Import positions into a staffing profile を参照してください。
ポジションのロールによってリソースをフィルターしない	ポジションに割り当てるリソースを検索する場合、そのポジションのロールはデフォルトのフィルタリング基準として使用されなくなりました。これにより、より多くの候補の中から目的のリソースを見つけることができます。 この機能は、新しいパラメーター NO_INITIAL_ROLE_IN_RESOURCE_FINDER がtrueに設定されている場合に有効になります。 詳細については、 Assign resources from Resource Allocation Management page を参照してください。

時間管理の機能拡張

タイムシートをコピーするときに、タイムシートのユーザーデータをコピーするかどうかを選択できるようになりました。

この機能は、管理者が **[[タイムシートのコピー] の [ユーザーデータを含める] オプションを有効にする]** 機能の切り替えを有効にすると有効になります。

詳細については、[Copy a time sheet](#)を参照してください。

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、アクティビティをタイムシートの作業項目に関連付けることができるようになりました。

詳細については、[Associate activities with a work item](#)を参照してください。

チーム管理の機能拡張

チームの **[デマンド]** タブから、個々のチームメンバーのアサインとキャパシティの詳細を表示できます。これにより、チームのデマンドと能力のバランスをとりやすくなります。

詳細については、[View assignment details of a resource](#)を参照してください。

統合の機能拡張

特定の機能のバックログアイテムをALM OctaneワークスペースからPPMプロジェクトタスクにインポートすることを選択できるようになりました。

詳細については、[Link a PPM task with an ALM Octane project](#)を参照してください。

REST APIの機能拡張

PPMでは、無効になっているさまざまな作業項目の時間ログを許可しません。このポリシーはREST API呼び出しに拡張されました。


詳細については、[Interactive REST API Help](#)を参照してください。

廃止

[[リクエスト詳細] ページでタブを使用する] 機能の切り替えは非推奨になりました。この機能を置き換えるために、PPMは、リクエストタイプごとにリクエストの詳細のレイアウトを設計できる、より柔軟なソリューションを提供します。

注: 24.1より前に機能切り替えをすでに有効にしていた場合、タブレイアウト設定は24.1へのアップグレード後も既存のリクエストタイプに対して保持されます。

詳細については、[Select the request layout](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

23.4の新機能

次の新機能と拡張機能が23.4で導入されました。

注: バージョン2023から23.4のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、23.4で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン2023~23.3の拡張機能を表示するには、[What's New in PPM - Earlier Versions](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

what-ifシナリオに開始日または終了日のないエンティティを含める	開始日や終了日のないエンティティをポートフォリオのwhat-ifシナリオに手動で追加できるようになりました。 詳細については、 Add contents to a scenario を参照してください。
シナリオを比較する	2つまたは3つのシナリオを比較して、さまざまな投資計画の影響を評価し、最適なシナリオを決定できます。 詳細については、 Compare scenarios を参照してください。
シナリオのコピーを保存する	スナップショットを作成するか、シナリオをエクスポートすることで、シナリオのコピーをその内容、スケジュール、キャパシティプランニングを含めて保存できます。 詳細については、 Snapshot and export scenarios を参照してください。
シナリオのコンテンツの依存関係を表示する	シナリオ内のコンテンツの依存関係を表示および追加できるようになりました。これは、ポートフォリオのコンテンツに優先順位を付けるのに役立ちます。 詳細については、 View and add dependencies を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオバックログ項目の依存関係を表示できるようになりました。これは、ポートフォリオコンテンツの優先順位付けとスケジュール設定に役立ちます。

詳細については、[Portfolio dependencies](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

指定されたリソースプールからのみリソースをリクエストする	<p>スタッフィングプロファイルのポジションにリソースプールが指定されている場合、そのポジションは指定されたリソースプールからのリソースのみを要求できます。</p> <p>詳細については、Add positionsを参照してください。</p>
リソースプール/チーム編集権限による拡張機能	<p>リソースプールまたはチームを編集できる場合は、次のことができるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none">リソースプールまたはチームのマネージャーでない場合でも、リソースプールまたはチームにリソースを追加します。リソースの直接の管理者でない場合でも、リソースを削除または転送します。 <p>この機能を使用するには、[編集アクセス権限を持つユーザがリソースプール/チーム内のリソースを管理できるようにする] 機能の切り替えを有効にします。</p> <p>詳細については、Resource Pool Securityを参照してください。</p>
[組織モデルの表示] ページを刷新	<p>[組織モデルの表示] ページの外観が改善されました。組織モデルの参照が簡単になりました。</p> <p>詳細については、Model organization unitsを参照してください。</p>
ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignmentはリソースアサイン終了日を更新する	<p>ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignment 特殊コマンドは、完了したスタッフィングプロファイルの予測とアサインをクリアするだけでなく、アサイン終了日も更新するようになりました。</p> <p>詳細については、ksc_clear_staffingprofile_forecast_assignmentを参照してください。</p>

[リソース負荷の内訳] テーブルには、リソースがフルネームのアルファベット順にリストされる

[リソース負荷の内訳] テーブル内のリソースが姓ではなくフルネームでアルファベット順にリストされるようになり、特定のリソースを見つけやすくなりました。

詳細については、[View resource load](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

リソースのデフォルトの請求書の承認者の編集を禁止する

管理者は、新しい**TM_LOCK_DEFAULT_BILLING_APPROVER**パラメーターをtrueに設定することで、個々のリソースのデフォルトの請求書の承認者の編集を無効にできるようになりました。

trueに設定すると、新しい**デフォルトの請求書の承認者の変更**レポートを使用して、すべてのリソースに対してデフォルトの請求書の承認者をグローバルに変更することのみが可能になります。

詳細については、[Configure time sheet policy and approvers for resources](#)および[Change Default Billing Approver](#)を参照してください。

[タイムシートの承認] ポートレットでデフォルトの時間承認者によってタイムシートをフィルタリングする

新しいフィールド **[デフォルトの時間承認者]** が、タイムシートの承認ポートレット設定ページに追加されました。このフィールドを使用して、デフォルトの時間承認者ごとにタイムシートをフィルタリングできます。

詳細については、[Use the Approve Time Sheets portlet](#)を参照してください。

[時間の承認] ページでタイムシートの明細をタイムシート項目ごとに並べ替える

タイムシートの明細レベルで承認する時間を検索する際に、検索結果をタイムシート項目ごとに並べ替えられるようになりました。

詳細については、[Use the Approve Time page](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

企業ロゴの変更	PPM標準インターフェイスに表示される企業ロゴを管理コンソールから変更できるようになりました。 詳細については、 Change corporate logo を参照してください。
プロフィール写真の追加	プロフィールに画像を追加できるようになりました。 詳細については、 Change Personally Identifiable Information を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

Web UIからPPMエンティティを移行する	Web UIからPPMエンティティをあるインスタンスから別のインスタンスに移行できるようになりました。 詳細については、 Migrate entities from web UI を参照してください。
データスペースごとにリクエストを分離する	データ分離機能を使用して、リクエストをデータスペースごとに分離できるようになりました。 詳細については、 Data separation (Beta) を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストタブを設定する	リクエストの詳細にどのタブを表示するかを構成し、タブの順序を決定できるようになりました。 詳細については、 Set up tabs for requests を参照してください。
URL参照のサポートが拡張された	リクエスト参照として最大4,000文字のURLを追加できるようになりました。 詳細については、 Add references to requests を参照してください。

統合の更新

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

Azure DevOpsエピックを PPMタスクにインポートする	Azure DevOpsプロジェクトからPPMプロジェクトタスクに特定のエピックをインポートすることを選択できるようになりました。 詳細については、 Integrate PPM tasks with Azure DevOps projects を参照してください。
PPM - ALM統合はALMバージョン16および17をサポートする	PPMとALMの統合では、ALMバージョン16および17がサポートされるようになりました。 詳細については、 Integration with Quality Center/Application Lifecycle Management を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

Oracle Primavera P6ファイルとPPMタスクユーザーデータ間のフィールドマッピング	Oracle Primavera P6 XERおよびXMLファイルのフィールドをPPMタスクのユーザーデータフィールドにマップできるようになりました。 詳細については、 Use work plan files for scheduling integration を参照してください。
新しいタスクエントリに対する未保存の変更の備考	作業計画のクイックビューでタスクを追加すると、保存されていない変更の備考がポップアップ表示されます。以前は、備考は、変更を保存せずにページを離れた場合にのみ機能しました。 詳細については、 Add a task を参照してください。
[プロジェクトのガント] ポートレットおよび [プロジェクトタイムライン] ポートレットに終了ページボタンを表示する	[レコードの合計数を表示] オプションが、[プロジェクトのガント] ポートレットと [プロジェクトタイムライン] ポートレットの設定ページで使用できるようになりました。このオプションを選択すると、ポートレットレコードの最後のページにジャンプできます。 詳細については、 Edit portlet preferences を参照してください。

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、タイムシートの作業項目のアクティビティを追加できるようになりました。

詳細については、[Add notes and activities to a work item](#)を参照してください。

Oracle EBSのデプロイメント管理拡張機能

Deployment Management Extension for Oracle E-Business Suiteには、OracleのFNDLOADユーティリティを使用して、同時プログラム登録、GUIメニュー、QuickCode、Single QuickCode、およびValue Setの移行を自動化する5つの新しいオブジェクトタイプが含まれています。

詳細については、[PPM extensions and migrators](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

23.3の新機能

次の新機能と拡張機能が23.3で導入されました。

注: バージョン2023から23.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、2023.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン2023の拡張機能を表示するには、[What's New in PPM 2023](#)を参照してください。

強化されたwhat-if分析 (ベータ版)

このリリースでは、what-if分析の新しいバージョンが導入されています。この高度なwhat-if分析には、すぐに使えるさまざまなレイアウトテンプレートが含まれており、さまざまな観点からポートフォリオを分析できます。組織のニーズを満たすカスタムレイアウトテンプレートを作成することもできます。

可用性: 強化されたwhat-if分析はベータ機能として導入され、ポートフォリオレベルでのみ利用可能です。

詳細については、[What-if analysis](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

データ分離 (ベータ版)	<p>データ分離機能を使用して、次のデータをデータスペースごとに分離できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• 組織単位• リソース• リソースプール• ユーザー• チーム <p>データスペースのメンバーは、そのデータスペースに属するデータの表示または編集のみが可能です。</p> <p>注記: これはベータ機能です。</p> <p>詳細については、Data separation (Beta)を参照してください。</p>
ポーランド言語パックのサポート	<p>PPMにポーランド語のサポートが追加されました。</p> <p>詳細については、Supported languagesを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

メニューの色をカスタマイズする	<p>管理コンソールからPPMメニューの色をカスタマイズできるようになりました。</p> <p>詳細については、Customize menu colorを参照してください。</p>
------------------------	--

Web UIからセキュリティグループを管理する	PPM Workbenchに加えて、PPM Web UIからセキュリティグループを作成および構成できるようになりました。 詳細については、 Manage security groups from web UI を参照してください。
キャッシュ設定をカスタマイズする	PPMでは、管理者がキャッシュ設定をカスタマイズするための安全な方法を導入しました。 詳細については、 Configure cache settings を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

タイムシート明細を削除するときに再確認する	タイムシートの明細を削除すると、確認を求める確認ダイアログボックスが表示されます。これにより、タイムシート明細を誤って削除することがなくなります。 詳細については、 Remove time sheet lines を参照してください。
時間フィールドをゼロ値で空白として表示する	[時間の内訳] タブで値がゼロの時間セルを空白として表示できるようになりました。これにより、ユーザーはタイムシートのどこに時間が記録されているかをより明確に確認できるようになります。 この機能は、新しい TM_SHOW_TIME_FIELD_ZERO_VALUES_AS_BLANK パラメーターがtrueに設定されている場合に有効になります。 詳細については、 Log time in your time sheet を参照してください。

タイムシートに作業項目を追加するためのクイック検索	<p>作業項目をタイムシートに追加するときに、新しいオプションの [クイック検索で項目を追加] を使用して、名前またはIDで任意のタイプの作業項目を検索できるようになりました。</p> <p>このオプションは、ENABLE_TM_QUICK_SEARCHパラメーターがtrueに設定されている場合に使用できます。</p> <p>詳細については、Quick search items to add to a time sheetを参照してください。</p>
ユーザーがクローズ済みリクエストの時間を記録できないようにする	<p>ユーザーがクローズ済みリクエストの時間を記録できないようにできるようになりました。</p> <p>この機能は、新しいTM_CLOSED_REQUEST_RESTRICTIONパラメーターをtrueに設定すると有効になります。</p> <p>詳細については、Search for and add requests to a time sheetを参照してください。</p>
[タイムシートの承認] ポートレットに表示する最大期間を指定する	<p>既存のTM_MAX_PREVIOUS_TIME_PERIODSパラメーターを使用して、[タイムシートの承認] ポートレットの設定を編集するときを選択できる期間の最大数を決定できるようになりました。</p> <p>詳細については、Use the Approve Time Sheets portletを参照してください。</p>

統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

PPM - Azure DevOps統合	<p>PPMはMicrosoft Azure DevOpsとの統合をサポートするようになりました。次のことが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">• Azure DevOpsプロジェクトの作業項目をPPMプロジェクトタスクにインポートする。• PPMリクエストをAzure DevOps作業項目と統合する。 <p>詳細については、Integrations with Azure DevOpsを参照してください。</p>
-----------------------------	---

リクエスト統合のための Webhookのサポート	<p>Webhookがリクエストの統合でサポートされるようになりました。これにより、PPMでリクエストが作成、変更、または削除されたときに、PPMが外部アプリケーションに即座に通知できるようになります。これにより、アプリケーション間のリアルタイム通信が容易になります。</p> <p>詳細については、Use webhooks for request integrationを参照してください。</p>
PPM - Jira統合のためのPAT認証をサポート	<p>PPMは、Jiraとの統合のためのパーソナルアクセストークン (PAT) 認証をサポートするようになりました。</p> <p>詳細については、Add a Jira agile instanceを参照してください。</p>

REST APIの機能拡張

次の機能拡張がREST APIに追加されました。

承認待ちのタイムシートを取得する	<p>/itg/rest2/timesheet/searchTimesheet REST APIを使用して、承認待ちのタイムシートを取得できるようになりました。</p> <p>詳細については、Interactive REST API Helpを参照してください。</p>
プロジェクトマネージャーのユーザー名とユーザーIDを取得する	<p>/itg/rest2/pm/projects REST APIを使用してプロジェクト情報を取得するときに、プロジェクトマネージャーのユーザー名とユーザーIDも取得できるようになりました。</p> <p>詳細については、Interactive REST API Helpを参照してください。</p>
PPMエンティティを移行する	<p>/itg/rest2/migration REST APIを使用して、PPMエンティティをあるインスタンスから別のインスタンスに移行できるようになりました。</p> <p>詳細については、Interactive REST API Helpを参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>エクスポートされたスタッフィングプロファイルに地域とタスクIDが含まれる</p>	<p>スタッフィングプロファイルをエクスポートするときに、ポジションの地域とタスクIDもエクスポートされるようになりました。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルのエクスポートを参照してください。</p>
<p>リソースプールとチームに組織単位を適用する</p>	<p>リソースプールまたはチームを作成するときに、プライマリ組織単位の関連付けを要求できるようになりました。</p> <p>新しいデータ分離機能を使用する場合は、この機能を有効にすることをお勧めします。</p> <p>詳細については、Create a resource poolを参照してください。</p>
<p>キャンセルされたスタッフィングプロファイルに対する今後の予測とアサインをクリアする</p>	<p>完了したスタッフィングプロファイルに使用可能であった [今後の予測とアサインのクリア] オプションを使用して、キャンセルされたスタッフィングプロファイルの今後の予測とアサインをクリアできるようになりました。</p> <p>詳細については、Clear future forecast and assignmentsを参照してください。</p>
<p>[必要な特定リソース] フィールドと [リソースタイプ] フィールドはカスタム検証をサポートする</p>	<p>スタッフィングプロファイルページと [ポジションの追加] ページで、[必要な特定リソース] フィールドと [リソースタイプ] フィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。</p> <p>詳細については、Use custom validations for OOTB fieldsを参照してください。</p>

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

<p>ポートフォリオ階層内での戦略調整</p>	<p>新しいフィールド [調整] が、ポートフォリオの [バックログ] タブと戦略テーマの詳細ページに追加されました。このフィールドは、ポートフォリオ階層内のすべてのレベルでの戦略テーマとポートフォリオ品目の間の調整状況に関する洞察を提供します。</p> <p>詳細については、Capture strategic alignment informationを参照してください。</p>
--------------------------------	--

KPI値は上位ポートフォリオのビジネスゴールにロールアップされる	現在のポートフォリオのビジネスゴールの上位ビジネスゴールを設定すると、現在のポートフォリオのビジネスゴールのKPI値が上位ビジネスゴールにロールアップされます。これにより、ビジネスゴールのパフォーマンスの可視性が向上し、ポートフォリオレベルでの詳細な分析が容易になります。 詳細については、 Add business goals を参照してください。
ビジネスゴールとKPIは10進数値をサポートする	ビジネスゴールの目標値とKPI値で、小数点以下2桁の数値がサポートされるようになりました。 詳細については、 Define and track business value を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

改良された [リクエスト詳細] ページ	リクエスト詳細ページの外観が改善されました。リクエスト詳細をナビゲートするのがより簡単かつ直感的になりました。 詳細については、 View requests を参照してください。
[リクエスト検索結果] ページに添付ファイルのリンクを表示する	[リクエスト検索結果] ページの添付ファイルフィールドに添付ファイルのリンクが表示されるようになりました。リンクをクリックすると、対応する添付ファイルをダウンロードできます。 詳細については、 Search requests を参照してください。

プログラム管理の機能拡張


次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

プログラムタイプへのアクセスを設定する	プログラムタイプに対して以下を設定できるようになりました。 <ul style="list-style-type: none">• プログラムタイプを編集できる人。• プログラムタイプを使用してプログラムを作成できる人。 詳細については、 Configure access to a program type を参照してください。
[プログラムタイプ] フィールドにカスタム検証を使用する	[プログラムの検索] ページと [新規プログラムの作成] ページの [プログラムタイプ] フィールドにカスタム検証を使用できるようになりました。詳細については、 Use custom validations for OOTB fields を参照してください。

APMの機能拡張

アプリケーションとプロセスの動的グラフのレイアウトを変更できるようになりました。

詳細については、[Change application and process display layout](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

2023の新機能

次の新機能と拡張機能が2023で導入されました。

ポートフォリオ管理の機能拡張

異なるポートフォリオ階層にある複数のポートフォリオに同じエンティティを追加できるようになりました。この機能は、**[複数のポートフォリオ階層に同じエンティティを追加する]** 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

詳細については、[Add portfolio contents](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

プロジェクトスケジューリング統合の更新	<p>プロジェクトスケジューリングの統合には、次の更新が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none">プロジェクト作業計画でOracle Primavera P6 XERおよびXMLファイルをアップロードおよびダウンロードして、PPMとOracle Primavera P6の間でプロジェクトのスケジュール情報を同期できるようにになりました。 <p>注記: これはベータ機能です。</p> <p>詳細については、Use work plan files for scheduling integrationを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">PPM管理者は、DISPLAYED_SCHEDULING_INTEGRATION_MODESパラメーターを使用して、プロジェクトスケジューリング統合で選択できる制御モードを制限できるようになりました。 <p>詳細については、Decide control modeを参照してください。</p>
タスクユーザーデータは、100フィールドと各フィールドで4,000文字をサポートする	<p>タスクユーザーデータに最大100フィールドを含めることができるようになり、各フィールドに最大4,000文字を含めることができるようになりました。</p> <p>詳細については、Configure task user dataを参照してください。</p>
[コスト] タブで常に使用できる財務サマリのリンク	<p>[財務サマリ] リンクは、財務サマリにコスト明細が含まれているかどうかに関係なく、常に [コスト] タブに表示されます。</p> <p>詳細については、Open the financial summary of a projectを参照してください。</p>
マイルストーンの既定の達成率の値を設定する	<p>新しいパラメーターSET_SUCESSOR_MILESTONE_PERCENTAGEが導入されました。これにより、先行タスクが完了したマイルストーンのデフォルトの完了率の値を設定できます。PPMは、指定された値に基づいてマイルストーンステータスを自動的に更新します。</p> <p>詳細については、Set a task as milestoneを参照してください。</p>

PPM-Agile統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM-Agile統合に追加されました。

PPMリクエストタイプとALM Octaneエンティティタイプマッピングの新しい同期方向	<p>新しい同期方向PPMリクエスト -> 既存のアジャイルエンティティが、PPM-ALM Octane統合のために追加されました。これにより、PPMリクエストを既存のALM Octaneエンティティにマップできます。</p> <p>詳細については、Link a PPM request to an existing ALM Octane entityを参照してください。</p>
PPMリクエストとJira課題の統合のためにJira 9.0をサポート	<p>PPMは、PPMリクエストとJira課題を統合するためのJira 9.0のサポートを追加しました。</p> <p>詳細については、Integrate PPM requests with Jira issuesを参照してください。</p>

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

電子メール通知をファイルとして保存	<p>EMAIL_DEBUG_DUMP_FOLDERサーバーパラメーターで指定されたフォルダーに、電子メール通知をファイルとして保存できるようになりました。これにより、SMTPサーバーを構成せずに、PPMがユーザーに送信する電子メール通知をテストできます。</p> <p>詳細については、Server parametersを参照してください。</p>
--------------------------	--

より多くのOOTBフィールドのカスタム検証をサポート	<p>以下を含む、より多くのOOTBフィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• [新規提案/プロジェクト/資産の追加] ページの [提案を含める]、[プロジェクトを含める]、[資産を含める] フィールド。• [コストルールの検索] ページと [コストルールの追加] ページの地域およびロールフィールド。• すべてのページとOOTBポートレットのビジネス目標フィールド。 <p>詳細については、Use custom validations for OOTB fieldsを参照してください。</p>
ほとんどのブラウザでサポートされている動的グラフ	<p>動的グラフは、最新のブラウザのほとんどで動作するようになりました。</p> <p>詳細については、Dynamic graphingを参照してください。</p>

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたExcelファイルで財務サマリの空の値をゼロとして表示する	<p>新しいパラメーターEXPORT_NULL_FINANCIAL_DATA_AS_ZERO_TO_EXCELが導入されました。エクスポートされたExcelファイルで空の財務サマリセルをゼロに置き換えるかどうかを制御できます。</p> <p>詳細については、Display empty values as zero in Excelを参照してください。</p>
コストルールの編集時にメモを追加する	<p>コストルールを編集するときに、メモを追加してより多くの情報を取得できるようになりました。</p> <p>詳細については、Add notesを参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

エクスポートされたスタッフィングプロファイルには、リソースの電子メールアドレスが含まれる	スタッフィングプロファイルをExcelにエクスポートすると、リソースの電子メールアドレスが [リソース] 列にツールヒントとして表示されます。これは、同じ名前のリソースを区別するのに役立ちます。 詳細については、 スタッフィングプロファイルのエクスポート を参照してください。
提案のスタッフィングプロファイルの地域のデフォルトは提案の地域	提案のスタッフィングプロファイルを作成すると、提案の地域がスタッフィングプロファイルのデフォルト地域として使用されます。 詳細については、 Create staffing profiles を参照してください。

管理の機能拡張

特定のユーザーを保護対象として指定し、意図しない変更を防ぐことができるようになりました。

詳細については、[Protected users](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

リクエストの詳細をセクションで表示する代わりに、タブで表示できるようになりました。これにより、長いページを上下にスクロールする必要がなくなります。

タブの使用は、**[[リクエスト詳細] ページでタブを使用する]** 機能切り替えがオンになっている場合に有効になります。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[View requests](#)を参照してください。

APMの機能拡張

動的グラフは、最新のブラウザーのほとんどで動作するようになりました。

詳細については、[Dynamic graphing](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

新しいオプション **[[プロジェクト名] プリファレンスと同じ順序でプロジェクトを表示]** が、プロジェクトタイムラインポートレット設定ページに追加されました。[プロ

ジェクト名] プリファレンスフィールドで定義されているのと同じ順序でプロジェクトを表示できます。

詳細については、[Edit portlet preferences](#)を参照してください。

Internet Explorerの廃止

Microsoft Internet Explorerのサポートは終了しました。代わりに他のブラウザを使用することをお勧めします。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

10.0.4の新機能

次の新機能と拡張機能が10.0.4で導入されました。

注: バージョン10.0から10.0.4のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、10.0.4で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0~10.0.3の拡張機能を表示するには、[What's New in PPM - Earlier Versions](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

刷新された戦略タブ

次の2つのサブタブが **[戦略]** タブに追加されました。

- **戦略テーマとビジネスゴール:** ポートフォリオに含まれるすべての戦略テーマとビジネスゴールを一覧表示します。ビジネスゴールは、ビジネスゴールが一致する戦略テーマによってグループ化されます。
- **戦略マップ:** グローバル戦略テーマ、その上位ポートフォリオ、および下位ポートフォリオとのポートフォリオの戦略的整合性を示します。

詳細については、[戦略マップ](#)を参照してください。

戦略テーマとビジネスゴールの詳細で利用可能な戦略的調整情報

戦略テーマとビジネスゴールの詳細ページから戦略的調整情報を表示できるようになりました。

- 戦略テーマを開くと、戦略テーマに沿ったビジネスゴールとイニシアチブを表示できます。
- ビジネスゴールを開くと、ビジネスゴールに関連するKPIの影響値を持つイニシアチブを表示できます。

詳細については、[戦略テーマを表示する](#)および [Track business goal performance](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

より多くのOOTBフィールドのカスタム検証をサポート

より多くのOOTBフィールドに対してカスタム検証を使用できるようになりました。

詳細については、[Use custom validations for OOTB fields](#)を参照してください。

FIPS準拠のためにBouncy Castle暗号化ライブラリを適用する

PPMは、FIPS 140-2準拠のために、RSA暗号化ライブラリの代わりにBouncy Castle暗号化ライブラリを適用するようになりました。

詳細については、[Apply FIPS 140-2 compliant encryption algorithm for OpenText PPM](#)を参照してください。

モバイルアクセスは、Microsoft Exchange OnlineのOAuth認証をサポートする

Eメールからの要求を処理できるようにするPPMモバイルアクセスは、Microsoft Exchange OnlineのOAuth認証もサポートするようになりました。

詳細については、[Configure Mobility Access](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストの検索ページの新しいフィルター

リクエストの検索ページに次のフィルターが追加されました。

- **リクエストの説明が次の文字列を含む:** リクエストの説明に含まれるキーワードでリクエストを検索します。
- **リクエストメモが次の文字列を含む:** リクエストノートに含まれるキーワードでリクエストを検索します。

詳細については、[Search requests](#)を参照してください。

リクエストをキャンセルすると、関連付けられたスタッフイングプロファイルもキャンセルされる

リクエストをキャンセルすると、それに関連付けられたスタッフイングプロファイルもキャンセルされます。

詳細については、[Cancel requests](#)を参照してください。

PPM-ServiceNow統合

PPMリクエストをServiceNowエンティティと統合できるようになりました。

詳細については、[PPM integration with ServiceNow](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

時間の承認者に再作業されたタイムシートの明細を通知する	承認者によって承認されたタイムシートの明細が再作業されたときに、時間の承認者に通知を送信するようにPPMを構成できるようになりました。 詳細については、 Notify time approvers of reworked time sheet lines を参照してください。
[時間の承認] ページにタイムシート/タイムシート明細メモを表示する	[時間の承認] ページに、タイムシートとタイムシート明細に入力されたメモが表示されるようになりました。 詳細については、 Approve or reject time を参照してください。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

新しいコスト要因: コストカテゴリ	コストカテゴリコスト要因を使用して、作業計画タスクの実績コストとスタッフィングプロファイルポジションの予測コストを計算できるようになりました。 詳細については、 Cost factor applications を参照してください。
通貨の更新	PPMは、通貨に対して次の更新を実装しました。 <ul style="list-style-type: none">• 南スーダンポンドやスリナムドルなどの通貨を追加しました。• ISO 4217規格に準拠するようにいくつかの既存の通貨を更新しました。 詳細については、 Manage financial exchange rates and currencies を参照してください。

管理の機能拡張

一度に複数のユーザーを無効にできるようになりました。

詳細については、[Disable multiple users simultaneously](#)を参照してください。

レポートの機能拡張

ユーザーが無効になっている場合、そのユーザーがスケジュールしたレポートをスキップして自動的にキャンセルできるようになりました。

この機能は、新しいパラメーター**SKIP_SCHEDULED_REPORT_WHEN_SUBMITTER_DISABLED**および**DELETE_SCHEDULED_REPORT_WHEN_SUBMITTOR_DISABLED_FOR_DAYS**が**true**に設定されている場合に有効になります。

詳細については、[Server parameters](#)を参照してください。

ポートレットの機能拡張

新しいオプション **[自分が管理しているプロジェクト]** が、**[プロジェクトのガント]** および **[プロジェクト タイムライン]** ポートレットの設定ページに追加されました。共有ダッシュボードページのこれらのポートレットで、現在ログインしているユーザーが管理するプロジェクトのみを表示できます。

詳細については、[Edit portlet preferences](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

10.0.3の新機能

次の新機能と拡張機能が10.0.3で導入されました。

注: バージョン10.0から10.0.3のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、10.0.3で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0～10.0.2の拡張機能を表示するには、[What's New in PPM - Earlier Versions](#)を参照してください。

PPM-Agile統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM-Agile統合に追加されました。

<p>PPMリクエストタイプとアジャイルエンティティタイプマッピングの同期方向を指定する</p>	<p>PPMは、PPMリクエストタイプとアジャイルエンティティタイプのマッピングに対して、次の新しい同期方向をサポートするようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アジャイルエンティティ -> 新しいPPMリクエスト: ALM OctaneまたはJiraで作成されたか、すでに存在し、まだPPMリクエストにマップされていないアジャイルエンティティの場合、マップされたリクエストタイプの要求がPPMで自動的に作成されます。 • PPMリクエスト -> 既存のアジャイルエンティティ。PPMリクエストを既存のJira課題にマッピングできます。 <p>詳細については、Map PPM request types to Jira issue typesおよびMap PPM request types to ALM Octane entity typesを参照してください。</p>
<p>アジャイルツールとの接続をテストする</p>	<p>PPMとの統合のためにアジャイルインスタンスを追加すると、アジャイルツールとの接続をテストできるようになりました。</p> <p>詳細については、Integration with Agile Development Toolsを参照してください。</p>
<p>マップされたアジャイルエンティティからPPMリクエストのリンクを解除する</p>	<p>マッピングされたアジャイルエンティティからPPMリクエストのリンクを解除できるようになりました。</p> <p>詳細については、Remove an entity mappingを参照してください。</p>
<p>より多くのフィールドタイプマッピングをサポート</p>	<p>PPMは、ALM OctaneおよびJiraとの統合で、フィールドマッピングのより多くのフィールドタイプをサポートします。</p> <p>詳細については、Supported PPM-Octane field type mappingsおよびSupported PPM-JIRA field type mappingsを参照してください。</p>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

セルフサービスポートレットの新しい表示タイプ	<p>セルフサービスポートレット用に2つの新しい表示タイプが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バブルチャート: 3次元のデータを表示します。 • カード: 特定のフィールドからの集計値を表示できます。 <p>詳細については、Set up display options for a self-service portletを参照してください。</p>
セルフサービスポートレット用の新しいOOTBデータソース	<p>PPMは、セルフサービスポートレット用の新しいOOTBデータソースKPIを提供するようになり、KPI情報を表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、KPIs data sourceを参照してください。</p>
リクエスト、プログラム、ポートフォリオ、チーム用の改良されたダッシュボード	<p>PPMは、リクエスト、プログラム、ポートフォリオ、およびチームのダッシュボードを刷新しました。改良されたバージョンでは、データビューが最適化され、ポートレットのサイズ変更の柔軟性が向上しています。</p> <p>詳細については、Configure dashboard for request types、Program Overview Layout policy、Portfolio overview、Team Overviewを参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

ポジションの地域を指定	<p>[地域] フィールドを使用して、ポジションの地域を指定できるようになりました。</p> <p>詳細については、Add positionsを参照してください。</p>
特定の地域からリソースを検索して割り当てる	<p>スタッフィングプロファイルのポジションにリソースを割り当てるときに、特定の地域からリソースを検索できるようになりました。</p> <p>詳細については、Use the Resource Finderを参照してください。</p>

ポジションの未処理のデマンドの予測コストを計算するためにPPMが使用する地域を指定する	<p>新しいサーバーパラメーター: FM_SP_POSITION_REGION_PRECEDENCEが追加されました。ポジションの未処理のデマンドの予測人件費を計算するときに、PPMがコストルールを取得するために使用する地域の優先順位を指定できます。</p> <p>詳細については、Server parametersを参照してください。</p>
スタッフィングプロファイルのオートコンプリートフィールドでサポートされるインタラクティブなヒント	<p>リストされたエンティティまたはユーザーとの対話を可能にするオートコンプリートフィールドのインタラクティブなヒントが、スタッフィングプロファイルでも利用できるようになりました。</p> <p>詳細については、Enable tooltips for auto-complete fieldsを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

SAML SSO認証	<p>PPMはSAML SSO認証をサポートするようになりました。ユーザーは、組織内の他のSAML SSOアプリケーションと同様に、SAML SSOを使用してPPMにログインできます。</p> <p>詳細については、Set up SAML SSO authenticationを参照してください。</p>
アプリケーションの例外を簡単に表示	<p>PPMは例外の検索機能を拡張し、管理者がアプリケーション例外を表示して問題をトラブルシューティングしやすくしました。</p> <p>詳細については、View exceptionsを参照してください。</p>
外部サイトのコンテンツをPPMに埋め込む	<p>新しいサーバーパラメーター: TRUSTED_EXTERNAL_URLSが追加され、外部WebサイトのコンテンツをPPMに簡単に埋め込むことができます。</p> <p>詳細については、Server parametersを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

譲渡および削除されたリソースのアサインオプション

チームからリソースの参加を100%譲渡または削除する場合、PPMが現在のチームでリソースのアサインをどのように処理するかを選択できるようになりました。

詳細については、[Transfer a resource or sub-team to another team](#)および[Remove a resource, unnamed headcount, or sub-team](#)を参照してください。

チームの過負荷率を表示

[ヒートマップ] タブに [過負荷率] 属性が含まれるようになりました。チームが過負荷になっているかどうか、およびチームがどれだけ過負荷になっているかがわかります。

詳細については、[Heatmap by team/resource](#)を参照してください。

OOTBフィールドにカスタム検証を使用する

一部のOOTBフィールドでカスタム検証を使用できるようになりました。

詳細については、[Use custom validations for OOTB fields](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

プロジェクトの概要のレイアウトをデフォルトにリセット

プロジェクトマネージャーは、プロジェクトの概要のレイアウトをリセットして、プロジェクトタイプから継承されたデフォルトのレイアウトを使用できるようになりました。

PPM管理者は、特定のプロジェクトタイプの既存のすべてのプロジェクトの概要レイアウトをリセットして、プロジェクトタイプから継承されたデフォルトレイアウトを使用できるようになりました。

詳細については、[Reset Overview Layout](#)および[Reset Overview Layout for Existing Projects](#)を参照してください。

ポートレットをすべてのプロジェクトダッシュボードに追加する

PPM管理者は、特定のプロジェクトタイプのすべての既存プロジェクトの概要タブに1つ以上のポートレットを追加できるようになりました。

詳細については、[Add Portlets to All Projects](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオのコンテンツを別のポートフォリオに移動できるようになりました。

詳細については、[Move portfolio contents to another portfolio](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張


ユーザーが引き続きタイムシートを送信できるように、カスタムタイムシートルールの違反を無視するように構成できるようになりました。

詳細については、[Custom rules for time sheets](#)を参照してください。

廃止

USE_REGION_OF_RESOURCE_POOL_FOR_POSITION_FORECAST_COSTパラメーターは非推奨です。このパラメーターの設定は、10.0.3へのアップグレード後に記憶されます。このパラメーターを置き換えるには、**FM_SP_POSITION_REGION_PRECEDENCE**パラメーターを使用して、ポジションの未処理のデマンドの予測人件費を計算するときにPPMがコストルールを取得するために使用する地域を指定できます。

詳細については、[Server parameters](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

10.0.2の新機能

次の新機能と拡張機能が10.0.2で導入されました。

注: バージョン10.0から10.0.2のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、10.0.2で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0～10.0.1の拡張機能を表示するには、[What's New in PPM - Earlier Versions](#)を参照してください。

新機能のビデオ

PPM 10.0.1～10.0.2に含まれるいくつかの新機能と機能拡張について説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

ポートフォリオタイプのデフォルトの戦略テーマとビジネスゴールを設定できるようになりました。デフォルトでは、新しいポートフォリオは、そのポートフォリオタイプから継承された戦略テーマとビジネスゴールを使用します。

詳細については、[Set strategic themes and business goals for portfolio types](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

作業計画のクイックビューの強化された日付ピッカー	<p>作業計画のクイックビューの日付ピッカーには、次の機能拡張が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドロップダウンリストから年と月を選択できるようになりました。 • 週の最初の日、地域の設定に基づいて自動的に選択されます。 • 月の最初の日または最後の日が週の途中にある場合は、週全体が表示されます。 <p>詳細については、Edit task detailsを参照してください。</p>
完全なリストから新しい問題、リスク、またはスコープ変更を記録します	<p>問題、リスク、スコープ変更の完全なリストから、新しい項目をログに記録したり、プロジェクトサマリタブに戻ったりすることができるようになりました。</p> <p>詳細については、Log and view issues, risks, and scope changesを参照してください。</p>
作業計画のすべてのビューで使用できる [プロジェクトに戻る] ボタン	<p>[プロジェクトに戻る] ボタンは、以前は作業計画のクイックビューでのみ使用できましたが、他のすべてのビューでも使用できるようになりました。</p> <p>詳細については、Understand work plan viewsを参照してください。</p>
必須のユーザーデータフィールドは、作業計画のすべてのビューに適用されます	<p>タスクにユーザーデータフィールドが必要な場合は、非表示に設定されている場合でも、作業計画のクイックビューでは必須であり、他のビューでは常に表示され、必須です。</p> <p>詳細については、Edit task detailsを参照してください。</p>
作業計画のクイックビューの選択したタスクの上にタスクを追加	<p>作業計画のクイックビューで、選択したタスクの上にタスクを追加できるようになりました。</p> <p>詳細については、Add a taskを参照してください。</p>
[タスクの追加] ページでタスクアクティビティを定義する	<p>[タスクの追加] ページでタスクを追加するときに、タスクのアクティビティを定義できるようになりました。</p> <p>詳細については、Add a taskを参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストのコピーで使用可能なオプションを制御する	<p>PPM管理者は、次のパラメーターを使用して、アジャイル統合フィールド、リクエストメモ、および参照をコピーするオプションを [リクエストのコピー] ページで使用できるようにするかどうかを制御できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• COPY_REQUEST_SHOW_COPY_AGILE• COPY_REQUEST_SHOW_COPY_NOTES• COPY_REQUEST_SHOW_COPY_REFERENCES <p>詳細については、Server parametersを参照してください。</p>
リクエストのコピーオプションのデフォルト値を設定する	<p>PPM管理者は、次のパラメーターを使用して、リクエストをコピーするときにアジャイル統合フィールド、リクエストメモ、および参照をコピーするオプションがデフォルトで選択されるかどうかを制御できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• COPY_REQUEST_COPY_AGILE_DEFAULT• COPY_REQUEST_COPY_NOTES_DEFAULT• COPY_REQUEST_COPY_REFERENCES_DEFAULT <p>詳細については、Server parametersを参照してください。</p>
ワークフローステップのアイコンをより簡単に選択	<p>ワークフローステップのアイコンを選択しやすくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• イメージファイルパスを指定する代わりに、リストからイメージを選択できるようになりました。• .png形式の画像がサポートされています。 <p>詳細については、Create decision workflow step sourcesを参照してください。</p>
リクエストのリンクをコピー	<p>リクエスト用に [リンクのコピー] ボタンが追加されました。リクエストリンクを任意のアプリケーションにコピーしたり、リンクを他のユーザーと共有したりできます。</p> <p>詳細については、Copy request linksを参照してください。</p>

ユーザーフィールドのツールチップからすべてのユーザーが利用できるユーザー情報	<p>ユーザーフィールドのツールチップから、ユーザーの詳細を表示し、ユーザーへの表示アクセス権がない場合でも、インスタントメッセージや電子メールをユーザーに送信できるようになりました。</p> <p>この機能を有効にするには、[すべてのPPMユーザーがヒントにリソース情報を表示できるようにする]機能切り替えをオンにします。</p> <p>詳細については、Enable tooltip for auto-complete fieldsを参照してください。</p>
リクエストタイプの新しいアクセス許可	<p>リクエストタイプに検索アクセス許可が追加されました。PPM管理者は、このアクセス許可を使用して、高度なリクエスト検索で特定のリクエストタイプを検索できるユーザーを制御できます。</p> <p>詳細については、Configure participants for request typesおよびConduct advanced request searchesを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チーム管理とチームアサインを無効にする	<p>チーム管理とチームアサインを使用したくない場合は、関連する機能の切り替えをオフにできるようになりました。</p> <p>詳細については、Enable team related featuresを参照してください。</p>
[デマンド] タブからリソースを割り当てるときに、有効なリソースのみを表示する	<p>[デマンド] タブからリソースをポジションに割り当てると、デフォルトでは有効なリソースのみが選択のために表示されます。</p> <p>詳細については、Assign resources to a resource request or promised allocationを参照してください。</p>

スタッフィングプロファイル属性によるチームデータのグループ化とフィルタリング

ステータスや終了期間などのスタッフィングプロファイル属性を使用して、次のことができるようになりました。

- チームのデマンドと稼働率のフィルタリング。
- チームのデマンドのグループ化。

詳細については、[Common functionality](#)を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

ログーマネージャーの更新

[[ログーマネージャ](#)] ページには、次の更新が含まれています。

- 現在のノードで行われた変更は、クラスター内の他のノードにも適用されます。
- [[Web UIからログレベルを指定する](#)] 機能切り替えを使用して、このページを表示または非表示にできるようになりました。
- 管理コンソールからこのページにアクセスできるようになりました。

詳細については、[Specify PPM logging level from web UI](#)を参照してください。

最新化されたSQL Runnerページ

[[SQL Runner](#)] ページが新しくモダンな外観になり、ユーザーエクスペリエンスが向上しました。

フルスクリーンでSQLステートメントを編集できるようになりました。キーボードショートカットを使用して、SQLステートメントを実行および循環します。

詳細については、[Run SQL queries from the Administration Console](#)を参照してください。

パラメーターがStingerの検証に失敗した場合のエラーメッセージとサーバーログ情報の改善

PPMは、リクエストパラメーターがStinger検証に失敗した場合に、より役立つエラーメッセージとサーバーログ情報を提供するようになりました。これにより、PPM管理者は問題のトラブルシューティングが容易になります。

詳細については、[Server log files](#)および[Security Guide](#)を参照してください。

PPM - ALM Octane統合の機能拡張

PPMリクエストタイプをALM Octaneエンティティタイプにマッピングすると、次のことができるようになりました。

- PPMリクエストタイプをALM Octaneの共有エピックにマップします。
- すべてのALM Octaneプロジェクトに一致するワイルドカードプロジェクトを選択します。

詳細については、[Manage ALM Octane entities from within PPM](#)を参照してください。

インストールとアップグレードの機能拡張

PostgreSQLデータベースを使用してPPMをインストールまたはアップグレードするときに、次の操作を実行できるようになりました。

- **export**コマンドを使用してパラメーター値を設定する。
- PPMをサイレントモードでインストールする。
- PPMファイルシステムのみをアップグレードする。

詳細については、[Installation and upgrade](#)を参照してください。

リソースプールの分析ポートレットの更新

リソースプールの分析ポートレットを使用して、次のことができるようになりました。

- 管理するすべてのリソースプールを含める。
- 選択したリソースプールの子リソースプールを除外する。

詳細については、[Compare resource pools to staffing profiles](#)を参照してください。

kMigratorの改善

kMigratorには、次の改善が含まれています。

- **kMigratorExtract.sh**および**kMigratorImport.sh**スクリプトを使用して、ポートフォリオタイプとPPM統合SDK設定を移行できるようになりました。
- **ignorePpmVersionDifference**パラメーターを使用して、エンティティをインポートするときにバージョンの違いを無視するようにPPMを構成できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

ワークベンチの機能拡張

PPMワークベンチで、ワークフローWorkbench、ワークフローステップソース、およびワークフローウィンドウのサイズを簡単に変更できるようになりました。

詳細については、[Configure workflows](#)および[Configure workflow step sources](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

10.0.1の新機能

次の新機能と拡張機能が10.0.1で導入されました。

注: バージョン10.0から10.0.1のヘルプセンターは、単一のヘルプセンターに簡素化されています。バージョン固有の変更は、該当する箇所に示されています。

このトピックでは、10.0.1で使用できる新機能と機能拡張について説明します。バージョン10.0の拡張機能を表示するには、[What's New in PPM 10.0](#)を参照してください。

ポートフォリオ予算

[財務] タブに、ポートフォリオの予算情報が含まれるようになりました。このタブを使用して、ポートフォリオの予算を表示および管理できます。

詳細については、[Portfolio budget](#)を参照してください。

統合の機能拡張

次の拡張機能がPPM統合ソリューションに追加されました。

リクエストアジャイルマッピングでの ワイルドカードJIRAプロジェクトの サポート

PPMリクエストタイプをJIRAエンティティタイプにマッピングするときに、ワイルドカードJIRAプロジェクトを指定して、すべてのJIRAプロジェクトに一致させることができるようになりました。これにより、JIRAプロジェクトごとに同じリクエストアジャイルマッピングを作成する必要がなくなります。

詳細については、[Map PPM request types with JIRA entity types](#)を参照してください。

PPMタスクとALMリリースの統合の ためのAPIキーとSSO認証のサポート

PPMは、PPMタスクとALMリリース間の統合のために、次の認証をサポートするようになりました。

- ALM 12.60以降のバージョンのAPIキー認証。
- ALM 15.5.1以降のバージョンのSSO認証。

詳細については、[Use the integration of OpenText PPM tasks with OpenText Application Quality Management releases](#)を参照してください。

利用可能なシートをPPMタスクにマ ップするように制限する

PPM管理者は、指定したワークスペースまたはフォルダーのシートのみをPPMタスクにマップできるように制御できるようになりました。

詳細については、[Add a Smartsheet instance](#)を参照してください。

PPM-Smartsheet統合でタスク工数フィールドマッピングをサポート

PPMタスクをSmartsheetシートにリンクするときに、Smartsheetタスク工数フィールドをPPMタスク工数フィールドにマップできるようになりました。

詳細については、[Link a PPM task with a Smartsheet sheet](#)を参照してください。

レポートの機能拡張

次の拡張機能がPPMレポートに追加されました。

新しいレポートタイプ: Webレポート

Webレポートを使用して、任意の形式のレポートを生成し、レポートファイル名をカスタマイズできるようになりました。

詳細については、[JSP report, Excel report and web report](#)を参照してください。

完了したレポートを電子メール通知に添付する

レポートを実行するときに、完成したレポートを電子メール通知に添付できるようになりました。

詳細については、[Submit reports](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

プライベートダッシュボードページを共有する

プライベートダッシュボードページを他のPPMユーザーと共有できるようになりました。

詳細については、[Share a private dashboard page](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの更新

次の拡張機能がセルフサービスポートレットに追加されました。

- ゲージチャートビューでは、値のリストから選択するだけでなく、ターゲット値を手動で入力できるようになりました。
- グリッドビューでは、条件付き書式を作成して適用し、グリッドに表示されるデータを強調表示、強調、または区別できるようになりました。

詳細については、[Set up display options for a self-service portlet](#)を参照してください。

Javaポートレットはデフォルトで、現在ログインしているユーザーのデータを表示します

現在ログインしているユーザーを、一部のJavaポートレットのデフォルト設定値として設定できるようになりました。このようなJavaポートレットを共有ダッシュボードページに追加すると、ポートレットはデフォルトで、現在ログインしているユーザーのデータを表示します。

このようなJavaポートレットには、アサインの負荷の分析ポートレット、プロジェクトリストポートレット、およびプロジェクトのガントポートレットが含まれます。

詳細については、[Edit portlet preferences](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

スタッフィングプロファイルの終了期間を変更する際の最も早い月を制御する

STAFFING_PROFILE_END_PERIOD_NO_EARLIER_THAN_MONTHパラメータを使用して、スタッフィングプロファイルの終了期間を変更する際の最も早い月を制御できるようになりました。

詳細については、[Server parameters](#)を参照してください。

リソース割り当て管理ページに、完了済みスタッフィングプロファイルからのポジションを表示するかどうかを制御する	リソース割り当て管理ページに、完了済みスタッフィングプロファイルからのポジションを表示するかどうかを制御できるようになりました。 詳細については、 Parameters and feature toggle controlling Resource Allocation Management page を参照してください。
関連リソースプールのステータスを表示する	[リソースプールの表示] ページから、その子および親のリソースプールのステータスを表示できるようになりました。 詳細については、 Roll up resource pool information を参照してください。
関連リソースプールを主に関係別に並べ替える	関連リソースプールは、主に関係 (親が一番上)、次にステータス (最初に有効)、最後に名前で並べ替えられます。 詳細については、 Roll up resource pool information を参照してください。
スタッフィングプロファイルの地域カレンダーを使用して、FTE単位でリソースデマンドを計算する (ベータ版)	PPMは、スタッフィングプロファイルの地域カレンダーに基づいてFTE単位でリソース予測デマンドを計算できるようになりました。 注記: これはベータ機能です。 詳細については、 Use staffing profile regional calendar to calculate demand in the FTE unit を参照してください。
会社からリソースを検索	特定の会社に関係するリソースを検索できるようになりました。 詳細については、 Set up a resource を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

[パスワードの変更] ページからパスワードをリセットする	[パスワードの変更] ページの [パスワードを忘れた場合] リンクを使用して、パスワードをリセットできるようになりました。 詳細については、 Reset your password を参照してください。
Web UIからPPMログレベルを指定する (ベータ版)	Web UIから特定の製品機能のログレベルを指定できるようになりました。 注記: これはベータ機能です。 詳細については、 Specify PPM logging level from web UI を参照してください。

PPMをPostgreSQLデータベースでアップグレードする (ベータ版)

PostgreSQLデータベースを使用するPPMを最新バージョンにアップグレードできるようになりました。

詳細については、[Upgrade PPM - PostgreSQL \(Beta\)](#)を参照してください。

 参照:

- [What's New in PPM - Earlier Versions](#)
- [PPMのReadme](#)

10.0の新機能

次の新機能と拡張機能が10.0で導入されました。

ポートフォリオ財務

[財務] タブがポートフォリオで利用できるようになりました。このタブを使用して、ポートフォリオのコストとベネフィットを追跡および管理できます。

詳細については、[ポートフォリオ財務](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの拡張機能

次の拡張機能がセルフサービスポートレットに追加されました。

お気に入りのビュー	<p>これで、セルフサービスポートレットのお気に入りのビューを作成できます。これにより、単一のポートレットを使用して、さまざまな観点から同じデータを分析し、それらを異なる形式で表示できます。</p> <p>詳細については、セルフサービスポートレットのお気に入りのビューの管理を参照してください。</p>
ドリルダウン先ビュー	<p>セルフサービスポートレットのお気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義できるようになりました。これにより、より詳細にドリルダウンできます。</p> <p>詳細については、お気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義するを参照してください。</p>
新しい表示タイプ	<p>2つの新しい表示タイプ: サンキーダイアグラムとゲージダイアグラムがセルフサービスのポートレットに追加され、データレポートの柔軟性が向上しました。</p> <p>詳細については、セルフサービスポートレットの表示オプションを設定するを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

管理コンソールでのより包括的なライセンスの使用	<p>管理コンソールは、PPMモジュールベースのライセンスの消費状況、PPMモジュール間で購入したライセンスの配布など、より包括的なライセンス使用情報を提供するようになりました。</p> <p>詳細については、ライセンスの使用状況を管理コンソールから表示するを参照してください。</p>
--------------------------------	---

APIキー認証	APIキーを使用して、PPMにアクセスする外部アプリケーションに安全な認証メカニズムを提供できるようになりました。 詳細については、 APIキーアクセスの設定 を参照してください。
カスタムWARファイルをデプロイする	これで、カスタムWARファイルをPPMサーバーにデプロイできます。 詳細については、 PPMサーバーにWARファイルをデプロイする を参照してください。
REST APIを使用してユーザー情報を取得する	これで、REST APIを使用して、地域設定やセキュリティグループなど、現在ログインしているユーザーに関するさまざまな情報を取得できます。 詳細については、 対話型REST APIヘルプ を参照してください。

コンカレントライセンスの機能拡張

コンカレントライセンスに次の機能拡張が追加されました。

非アクティブなコンカレントセッションを強制終了する	コンカレントライセンスが不足している場合は、非アクティブなセッションを強制的に閉じてコンカレントライセンスを解放できます。 詳細については、 コンカレントセッションを強制終了する を参照してください。
コンカレントライセンス使用の通知	PPMは、コンカレントライセンスの使用に関する通知を送信できるようになりました。PPMが通知を送信するタイミングと送信先を設定できます。 詳細については、 コンカレントライセンスの使用通知の設定 を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストタイプのコマンドをトリガーする新しいルール	関連するリクエストでコマンドを実行すると、リクエストタイプのコマンドをトリガーできるようになりました。 詳細については、 リクエストタイプコマンドのイベントルールを有効にする を参照してください。
すべてのフィールドが非表示になっているときにセクションを非表示にする	UIルールによってすべてのフィールドが非表示になったときに、セクションを非表示にできるようになりました。 詳細については、 基本的なリクエストの編集を実行する を参照してください。

新規特殊コマンド

PPMは新規特殊コマンドを導入しました: **ksc_run_command_in_other_requests**

リクエストの変更が関連するリクエストに影響を与える場合は、リクエストでこのコマンドを実行して、関連するリクエストの任意のコマンドの実行をトリガーできます。これは、単一のコマンドを実行することにより、関連するすべての要求に変更を適用するのに役立ちます。

詳細については、[ksc_run_command_in_other_requests](#)を参照してください。

PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版)

これで、PostgreSQLデータベースを使用してPPMを実行できます。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[PostgreSQLを使用したPPMのインストール](#)を参照してください。

統合の更新

NotionまたはSmartsheetで管理されているタスクをPPM作業計画にインポートできるようになりました。

注記: これらはベータ機能です。

詳細については、[NotionからPPM作業計画へのタスクのインポート \(ベータ版\)](#) および [SmartsheetからPPM作業計画へのタスクのインポート \(ベータ版\)](#) を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日までであることを確認します	[タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日を超えて延長されるのを禁止する] 機能切り替えをオンにすることで、タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日より遅くないことを確認できるようになりました。 詳細については、 タスクの追加 を参照してください。
作業計画の改善	次の機能拡張が作業計画に追加され、より優れたユーザーエクスペリエンスが提供されます。 <ul style="list-style-type: none">• 作業計画のクイックビューでタスク名を編集するときに、編集ボックスが拡大され、タスク名全体が表示されるようになりました。• 作業計画のベースラインの詳細を表示するときに、[Microsoft Project内で作業計画を開く] ボタンが無効になりました。• 作業計画のスケジュールされた作業の編集クイックビューは、他のビューと同じになりました。 詳細については、 タスクの詳細の編集 を参照してください。

kMigratorの改善

kMigratorExtract.shおよび**kMigratorImport.sh**スクリプトを使用してセルフサービスポートレットデータソースを移行できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

廃止

従来のPPMモバイルWebクライアントは、このリリースから非推奨になりました。10.0より前のレガシーPPMモバイルWebクライアントを使用する場合、アップグレード後は、**PPM for Mobile**を使用する必要があります。

詳細については、[PPM for Mobile](#)を参照してください。

 参照:

- [以前のバージョンの新機能 \(47ページ\)](#)
- [PPMのReadme](#)

既知の問題

このセクションでは、PPMを使用する際の既知の問題と制限事項について説明します。

問題


次の表に、一般的な問題と解決策をいくつか示します。

問題	説明
[リクエストタイプ設定] ページの [レイアウト] タブが切り捨てられる	25.2にのみ適用。 [リクエストタイプ設定] ページの [レイアウト] タブが切り捨てられ、[詳細フィールド] セクションの一部の要素が非表示になったり、完全に表示されなくなったりします。 回避策: [基本フィールド] セクションを折りたたんで、[詳細フィールド] セクションの非表示の要素を表示してアクセスします。または、ブラウザのズームレベルを下げてタブ全体を表示します。

問題	説明
ポートフォリオ内のコンテンツが削除された状態でボードビューを使用してシナリオを再読み込みすると、空白ページが表示される	<p>25.2にのみ適用。ボードビューコンテンツビューウィジェットを使用するwhat-ifシナリオでは、関連付けられているポートフォリオからコンテンツが削除された後、シナリオの詳細ページで [再読み込み] ボタンをクリックすると、ページが空白になります。</p> <p>回避策: コンテンツを読み込むにはページを更新してください。</p>
表のヘッダーに区切り線がない	<p>25.2にのみ適用。テーブルコンポーネントの一部のテーブルヘッダーに区切り線がなく、列間の視覚的な区切りに影響しています。</p>
クラシックメニューでメニュー項目が切り捨てられる	<p>25.2にのみ適用。クラシックメニューでは、一部のメニュー項目が切り捨てられ、完全には表示されません。</p> <p>回避策: すべてのメニュー項目を表示するには、ブラウザーのズームレベルを下げます。</p>

問題	説明
クラシックメニュースタイルを使用してマイリンクのページを並べ替えるときにエラーが発生しました	<p>25.2にのみ適用。 クラシックメニュースタイルを使用しているときに、[マイリンク] リストでページ順序を調整すると、エラーが発生します。</p>
地域言語設定の競合によりリクエストタイプでSQLルールにエラーが発生しました	<p>特定の地域言語バリエーションを持つユーザーが、フィールドレベルのセキュリティに対して定義されたSQLルールを含むリクエストを開くと、エラーが発生する場合があります。この問題は、同じ言語の異なるバージョンを使用しているユーザーには発生しない可能性があります。この動作は、同じ言語を表しているように見えても、Oracleが異なる地域言語オプションを解釈する方法によって発生します。これらのオプションにより、異なるパラメーターがOracleに渡され、動作に一貫性がなくなる可能性があります。</p> <p>回避策: この問題を回避するには、すべてのユーザーに対して同じ地域設定を設定します。</p>
プロジェクト詳細ページでアクションボタンが消える	<p>プロジェクト名が長すぎる場合、[プロジェクトの詳細] ページで [保存] ボタンやその他のアクションボタンが表示されなくなります。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p>

問題	説明
APIは無制限のリッチテキストの長さをサポートしていない	<p>ALLOW_NO_SIZE_LIMIT_RICH_TEXT_FIELDパラメーターがtrueに設定されている場合に使用できます。ただし、次のAPIは現在この機能をサポートしておらず、最大文字数制限は4000のままです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • post/dm/reqeusts • put/dem/requests/{reqId} <p>送信されたリッチテキストがこの制限を超えると、API要求が失敗する可能性があります。</p>
バージョン25.1にアップグレード	<p>Oracleを使用したPPMに適用可能です。 PPMを25.1にアップグレードするときに、最初にコードファイルシステムをアップグレードしてからデータベースをアップグレードすると、エラーが発生します。PostgreSQLを使用するPPMは影響を受けません。</p> <p>回避策: 最初にデータベースをアップグレードし、次にファイルシステムをアップグレードするか、ファイルシステムとデータベースを同時にアップグレードします。</p>
地域設定の言語オプションが正しく保存されない	<p>25.1にのみ適用。 JAVA_HOMEとしてOpenJDK17を使用しているインスタンスで、[地域設定] ページから複数のパラメーターを持つ言語オプションを選択した場合、選択したオプションは保存後に変更されます。たとえば、中国語 (簡体字、中国) は中国語 (中国) として保存されます。</p> <p>回避策: 正しいオプションを手動で再選択し、再度保存します。</p>
データソース列に「?」が含まれている場合、ポートレットの読み込みに失敗する	<p>25.1にのみ適用。 ポートレットデータソース列に「?」が含まれている場合、ポートレットはデータの読み込みに失敗します。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p>

問題	説明
メニュー表示の問題	<p>24.4にのみ適用。バージョン24.4にアップグレードすると、新しいサイドナビゲーションメニューがデフォルトで有効になります。ただし、サイドナビゲーションメニュー機能の切り替えをオフにすることで、従来のトップナビゲーションメニューに戻すことができます。トップナビゲーションメニューに戻ると、メニューとマストヘッドの表示がずれたり、乱れたりする場合がありますのでご注意ください。</p> <p>回避策:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従来のメニューから、マストヘッドの [管理] ボタン  をクリックします。 2. 管理メニューから、[システムの外観のカスタマイズ] > [テーマのカスタマイズ] をクリックします。 3. ロゴ領域に移動し、[デフォルトに戻す] をクリックします。
24.4で[プロジェクトタイプの参照]メニューが削除された	<p>24.4にのみ適用。バージョン24.4にアップグレードすると、バージョン24.3以前でアクセス権限を持っていたユーザーは[プロジェクトタイプの参照]メニューを使用できなくなります。このメニューを[マイリンク]リストに追加したり、URLを保存したりした場合でも、ページに直接アクセスできます。</p> <p>回避策: 特定のプロジェクトタイプの詳細を表示するには、そのタイプのプロジェクトを開き、[プロジェクト設定]に移動して、プロジェクトタイプのリンクをクリックして詳細ページを開きます。</p>
為替レート更新バックグラウンドサービスが停止する	<p>24.3および24.4に適用。為替レート更新バックグラウンドサービスが断続的に処理を停止し、外国為替レートの更新が遅れたり失敗したりします。</p>
多言語インターフェイスでのログインの問題	<p>24.1にのみ適用。多言語インターフェイスを備えたPPMインスタンスをバージョン24.1にアップグレードすると、セッション言語を選択した後にログインページがロックされ、それ以上進めなくなります。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000026809</p>

問題	説明
ログイン後のエラー	<p>24.1にのみ適用。 PPMをバージョン24.1にアップグレードすると、ログイン後に次のエラーが表示される場合があります。「不明なエラーが発生しました。」</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000026984</p>
Excelレポート	<p>24.1にのみ適用。 バージョン24.1にアップグレードした後、Excelレポートの生成またはデータの生成時に問題が発生します。この問題は、小文字以外の名前を持つデータベースフィールドを参照するExcelテンプレートファイルを使用する場合に発生します。たとえば、project_nameの代わりにPROJECT_NAMEを使用します。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000027122</p>
タイムシート通知	<p>24.1にのみ適用。 以前のバージョンから2023以降のバージョンにアップグレードされたPPMでタイムシート通知を送信できません。</p> <p>回避策:</p> <ol style="list-style-type: none">すべてのPPMノードを停止します。次の更新ステートメントを実行してコミットします。 <pre>update knta_services_nls set job_class = 'com.kintana.core.server.scheduler.EmailNotificationJob' where reference_code='_NOTIFICATION_SERVICE';</pre> <ol style="list-style-type: none">すべてのPPMノードを起動します。

問題	説明
Oracle データ ベース バー ジョン 12.1	<p>24.1にのみ適用。 Oracle Databaseバージョン12.1をPPM 23.3以降のバージョンで使用すると、PPMの起動に失敗します。</p> <p>回避策: PPMサーバーを起動する前に、V1.27__alter_configuration_table.sqlファイルを<PPM_Home>/server/_common/deploy/pvo.war/WEB-INF/classes/db/oracle/migrationディレクトリにコピーします。</p> <p>注記: PPMを23.3から23.4、23.3から24.1、または23.4から24.1にアップグレードする場合は、アップグレード後に毎回V1.27__alter_configuration_table.sqlファイルをコピーする必要があります。</p>
ドリル ダウン ポート レット のフィ ルター マッピ ング	<p>23.4および24.1に適用。 フィルターマッピングフィールドを持つドリルダウンポートレットは機能せず、フィルタートークンを解決できず、エラーが発生します。「1つまたは複数の必須プリファレンスが存在しないため、このドリルダウンを表示できません。ダッシュボード管理者に連絡してください。」</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p> <p>詳細については、次の記事を参照してください。 KM000027123</p>
セルフ サービ スポー トレッ トにプ ロジェ クトと ポート フォリ オの概 要に関 する データ が表示 されな い	<p>24.2にのみ適用。 グリッドビュータイプで構成されたセルフサービスポートレットでは、プロジェクトおよびポートフォリオの概要に関するデータが表示されません。</p>

問題	説明
無効に切り替えると個人用ランディングページが非表示になる	<p>24.2にのみ適用。 ページを個人のデスクトップランディングページとして設定すると、個人用ランディングページを無効にする切り替えは表示されなくなります。目に見えないにもかかわらず、トグルは機能し続けます。</p> <p>回避策: ページを個人用ランディングページとして使用することを停止するには、上部のメニューで、[マイリンクに追加] アイコンの右側の領域にマウスを移動し、[このページをランディングページとして使用するのをやめます] ツールヒントが表示されたらクリックして無効にします。</p>
JDK 11 環境では電子メール通知が送信されない	<p>24.1にのみ適用。 JDK 11を使用するインスタンスでは電子メール通知は送信されません。</p> <p>これは、バージョン24.1にアップグレードされたインスタンスに影響します。バージョン24.1の新規インストールおよび他のJDKバージョンを使用するインスタンスは影響を受けません。</p> <p>解決策: <code>lib/jboss/boot/</code>ディレクトリ内の<code>javax.mail.jar</code>ファイルを削除し、サーバーを再起動します。</p> <p>注記:</p> <p>この問題が解決されると、保留中の電子メール通知がすべて送信されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保留中の電子メール通知の数を確認するには、次のSQLクエリを実行します。 <pre data-bbox="375 1255 1414 1583">SELECT count(*) FROM knta_notif_txn_parents p where p.notification_sent_flag = 'N' and p.interval_id = 3 order by p.notif_txn_parent_id asc</pre> <ul style="list-style-type: none"> これらの通知の送信を停止するには、送信フラグをYに設定します。 <pre data-bbox="375 1646 1414 1772">update knta_notif_txn_parents p set p.notification_sent_flag = 'Y'</pre> <p>通知クリーンアップサービスは、7日後にこれらの通知を自動的に削除します。この期間は、NOTIFICATIONS_CLEANUP_PERIODサーバーパラメーターを使用して調整できます。</p>

問題	説明
ポートレットの[プリファレンスの編集]ページでは[詳細フィルタ]オプションが機能しない	<p>24.3にのみ適用。 リクエストカテゴリのJavaポートレットの[プリファレンスの編集] ページでは、[詳細フィルタ] オプションは機能しません。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p>
日付フィールドにnull値が含まれている場合、セルフサービスポートレットが表示されない	<p>24.3にのみ適用。 日付フィールドにnull値が含まれていると、セルフサービスポートレットでデータが表示されなくなります。</p> <p>解決策: 修正プログラムが利用可能です。ホットフィックスを入手するには、サポートにお問い合わせください。</p>
複数選択リストフィールドで隣接するフィールドが非表示になる	<p>24.3にのみ適用。 [新しいドロップダウンリストとオートコンプリートリストを使用する] 機能を有効にすると、複数選択フィールドで複数の値を選択した後に、隣接するフィールドが非表示になったり、正しくレンダリングされなかったりします。</p>

制限事項

次の表に、PPMを使用する際の制限事項を示します。

制限事項	説明
必要なフィルターを持つポートレットはエクスポート時に値が欠落している	<p>24.3にのみ適用。複数のポートレットを含むドリルダウンページをPDFにエクスポートすると、必須のフィルターフィールドを持つポートレットの値がエクスポートされたPDFで欠落する可能性があります。</p> <p>回避策: このようなポートレットをエラーなくエクスポートするには、各ポートレットを最大化ビューで表示し、ポートレットを個別にエクスポートします。</p>
ALM Octane統合	<p>24.3にのみ適用。 ALM OctaneからPPMタイムシートに作業をインポートできません。</p>
スタッフィングプロファイルのメモでは箇条書きと番号付きリストの書式設定が利用できない	<p>24.2および24.3に適用。 メモに対してリッチテキスト形式が有効になっている場合、スタッフィングプロファイルメモでは箇条書きと番号付きリストの書式設定は使用できません。</p>
ALM統合	<p>24.1にのみ適用。 ALM統合用のSSO ALM HTTPSサーバーに接続できません。</p>
アサインの負荷の分析ポートレットをエクスポートする	<p>アサインの負荷の分析ポートレットデータをExcelにエクスポートし、[次の合計アサイン値: 実績工数]を表示、[詳細データを含める]の2つのオプションを選択した場合、パッケージ、プログラム、その他の詳細はExcelにエクスポートされませんが、実績工数は実際の合計アサインに含まれます。</p>
ダッシュボードのランディングページをエクスポートする	<p>製品アイコンをクリックしてダッシュボードのランディングページに移動し、ページをPDFにエクスポートする前にランディングページがすでに変更されている場合、PDFにはエクスポートするページではなく新しいランディングページのコンテンツが表示されます。</p>

制限事項	説明
[スタッフィングプロファイルのベースラインの作成] ダイアログボックスが画面外に表示される	<p>[プロジェクトサマリ] ページからスタッフィングプロファイルのベースラインを作成する場合、ページが長く、ページを一番下までスクロールして [ベースライン] ボタンをクリックすると、画面の外に [スタッフィングプロファイルのベースラインの作成] ダイアログボックスが表示されることがあります。このダイアログボックスを画面上の目的の場所に移動すると、スタッフィングプロファイルのベースラインを作成できます。</p> <p>この問題はChromeブラウザーとEdgeブラウザーで発生しません。</p>
トルコ語ロケール	トルコ語ロケールを使用するオペレーティングシステムにPPMをインストールできません。